

令和3年度

授業改善のための学生アンケート報告書

－ 全体集計 －

第I部

令和4年4月

拓殖大学 F D委員会

はじめに

「学修者本位の教育」が求められています。いうまでもなく教育とは学生のためのものであり、教育機関に求められている教育の質保証は、学修者本位の教育の質保証でなければなりません。本学では「拓殖大学FD委員会」が中心となり、「教員の授業の改善に役立てること、並びに本学の教育の質の向上を図ること」を目的に「授業改善のための学生アンケート」を実施しています。本学ではアンケート集計結果にもとづく分析、学生の意見や教員による授業の振り返りを通じて、授業内容・教育方法の改善やカリキュラム全体の見直し、学修支援環境の充実などにつなげ、学修成果の把握、学生の主体的な学びを促す効果的学修の推進に取り組んでいます。

今年度からは Web システムを使用したアンケート形式を導入しました。これにより実施科目を原則すべての科目へと拡充し、結果の迅速なフィードバックもできるようになりました。アンケート実施の目的を合理的に達成できる環境が整ったといえます。

本報告書は、令和3年度に実施した「授業改善のための学生アンケート」を基に「全体集計」（第Ⅰ部）と「科目別集計」（第Ⅱ部）の2部構成にまとめました。

第Ⅰ部では、大学全体から各学部・学科まできめ細かな分析を試み、各学部における評価及び課題を明確にしております。本学ホームページにて学内外に公表いたします。

第Ⅱ部では「科目別集計（個表）」の形で授業評価に参加した全教員のデータとともに、学生の主な意見、ならびにこれに対する担当教員の所見を掲載し、学内イントラネット上で公表いたします。

教員各位にあつては、本報告書を活用し、自身のアンケート結果を過去と比較し、他の教員や他学部の状況も参考にしながら、今後の改善に役立てて下さるようお願いいたします。大学全体としては、教育の質の向上を図るための教学マネジメントの一環として、各学部における取組に対して適切な支援などを行っていきます。

令和4年3月

拓殖大学 学長
鈴木 昭一

目 次

はじめに

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針	3
2. 実施状況	3
3. 集計結果の概要	3
4. 今後の課題	4

II 実施状況

1. 実施期間	7
2. 実施教員数	7
3. 実施科目数	8
4. アンケート回答数（延べ人数）	8
5. 学科目別実施科目数	8

III 全体集計

1. 学科目別（講義等科目）平均値・標準偏差値	11
2. 教員所属別（講義等科目）平均値・標準偏差値	
(1) 専任教員所属別	12
(2) 講師(非常勤)所属別	13
3. 履修登録者数別比較表（講義科目）	14
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）	
(1) 学科目別平均値	
①商学部初期教育科目	15
②商学部専門科目	16
③政経学部専門科目	17
④外国語学部専門科目	18
⑤工学部専門科目（講義等科目、実験・実習科目別）	19
⑥国際学部専門科目	21
⑦教養教育科目	22
⑧外国語科目	23
⑨スポーツ・トレーニング科目	24
⑩教職・社教・日語科目	25
⑪ゼミ・外書講読科目	26
⑫全体（講義等科目）	27
(2) 学生所属別平均値・標準偏差（講義等科目）	
①学年別	28
②学科別	29

(3) 満足度平均値	
①学科目別	31
②所属別	32
③身分別	33
④年齢別	34
5. 学科目別 回答の分析	35
6. 学部設問項目 平均値・標準偏差	40
7. 政経学部 学部別設問項目 教員別回答別表・グラフ	42

IV 評価及び課題

1. 商学部	47
2. 政経学部	50
3. 外国語学部	53
4. 工学部	57
5. 国際学部	62
6. 教養教育（教養教育科目）	65
（外国語科目）	67
（スポーツ・トレーニング科目）	69
7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目	74

参考資料

実施要領	79
アンケート様式	81

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針

拓殖大学における教育内容と方法の改善を目的とした組織的な取り組みは、1992年（平成4年）の拓殖大学自己点検評価委員会の設置から始まり、各学部自己点検評価委員会が設置され、検証と評価を繰り返しながら教育の改革・改善に取り組んできました。2012年（平成24年）4月から拓殖大学FD委員会による取組として現在に至っております。

具体的には、1994年（平成6年）から始まった「学生による授業評価（現・授業改善のための学生アンケート）」の実施、全学的なFDワークショップ及び各学部独自のFDワークショップ開催、教育・研究等業績報告書の作成、新任教員研修会の実施などです。このうち「授業改善のための学生アンケート」（以下、学生アンケート）は、これら一連の教育改革の柱となるものであり、次のような特色を持っています。

- (1) 大学（5学部）全体の取り組みとして実施していること。
- (2) 全教員が参加していること。
- (3) 授業科目ごとの集計表には、統計処理したデータだけでなく学生からの要望・担当教員の所見及び改善に向けた取り組み方針を記載し、改善に向けて取り組んでいること。
- (4) 集計・分析結果のみならず、授業科目毎の集計及び担当教員による所見を公開し、全教員が参照できるようにしていること。

2. 実施状況

令和3年度「授業改善のための学生アンケート」は、全教員〔専任教員226名、講師（非常勤）361名〕を対象に実施いたしました。また、前実施年度となる令和元年度まで、専任教員は2科目程度、講師（非常勤）は1科目以上を対象科目としておりましたが、令和3年度より、学生アンケートをWebを利用して完全システム化し、学外委託科目等一部科目を除く全科目での実施をいたしました。

実施科目数は専任教員で1,059科目（令和元年度〈以降同様〉468科目）、講師（非常勤）で1,093科目（519科目）、合計2,152科目（987科目）と大幅に増加しました。また、学生からの述べ回答数も38,688人（34,971人）に増加しました。

3. 集計結果の概要

学生アンケートを実施した全授業科目の「満足度」の平均は4.14となり、令和元年度と比べ0.19pt上がりました。また、その数値は、学部別、科目分野別で差があります。たとえば専任教員の学部別では、国際学部の4.35が最も高く、外国語学部4.22、政経学部4.21、商学部4.19、工学部3.89と続いています。

区分別の満足度は、ゼミ・外書講読（4.58）が最も高く、次いで教職・社教・日本語講座

科目（4.26）、以下、国際学部専門科目（4.23）、外国語学部専門科目（4.18）、同率で商学部専門科目、教養教育科目、外国語科目（4.13）、商学部初期教育科目、政経学部専門科目（4.07）、工学部専門科目〔講義〕（3.84）と続いています。

こうした評価の差は、科目分野に加え、授業規模や授業方法の違いによっても異なっており、講義科目の履修登録者数別比較表（講義科目）によれば、履修者数100人以下の満足度4.16に対して、301人以上が3.79と、0.37pt低くなっています。

学生の学年別「満足度」では、高学年になるほど高い傾向であり、また教員の身分別では特別非常勤講師（4.21/15人）が最も高く、以下、准教授（4.19/58人）、教授（4.18/155人）、助教（4.16/12人）、講師（非常勤）（4.08/282人）の結果となりました。

教員の年齢別では、最も高い数値は40歳未満（4.21）であり、逆に最も低い数値は60歳代で（4.09）となりました。

「満足度」以外の項目については、今後の課題も含め学部別あるいは学科目別に詳細に分析されているので、本報告書「V評価と課題」をご覧ください。

4. 今後の課題

（1）客観性を担保する学生アンケート実施への取り組み

- ・現在アンケートの対象外となっている一部科目の見直しを図る。
- ・現行の授業実施状況や内容をよりよく反映する設問の設定を検討する。

（2）効率的な実施方法の取り組み

- ・令和3年度の実施状況を踏まえ、教員と学生に向けて、実施上の注意点を明示し、よりスムーズな実施ができるように工夫する。
- ・原則全科目がアンケートの対象科目となり、教員の作業負担が大幅に増したので、所見作成等の簡素化を図り、より効率的な運用を検討する

少子高齢化と文部科学省による定員管理の厳格化から、大学を取り巻く環境が厳しくなっている折、本学においても持続可能な社会の担い手を育むため、教育の質と学生満足度の向上に向けた取り組みを一層追求する必要があります。

国際的な視野を持ち、タフな人間力を身につけた『拓殖人材』を育むためには、学修者本位の教育の質の向上は当然の責務であり、本委員会では『授業改善のための学生アンケート』を大学教学マネジメントの柱の一つと位置づけ、積極的に学士教育課程の編成・実施に係る組織的な取り組みを行っていくことといたします。

令和4年3月

拓殖大学FD委員会
委員長 山田 政通

II 実施状況

1. 実施期間

2021年12月6日（月）～2021年12月11日（土）

予備日：12月13日（月）～18日（土）

2. 実施教員数

1) 専任教員

所 属	実施対象教員数	実施者数	未実施者数	実施率（%）
商 学 部	48	48	0	100.00%
政 経 学 部	52	52	0	100.00%
外国語学部	35	35	0	100.00%
工 学 部	49	49	0	100.00%
国 際 学 部	34	34	0	100.00%
兼 担	8	8	0	100.00%
合 計	226	226	0	100.00%

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

2) 講師（非常勤）

所 属	実施対象教員数	実施者数	未実施者数	実施率（%）
商 学 部	98	76	22	77.55%
政 経 学 部	104	85	19	81.73%
外国語学部	63	55	8	87.30%
工 学 部	43	38	5	88.37%
国 際 学 部	41	37	4	90.24%
兼 担	12	12	0	100.00%
合 計	361	303	58	83.93%

（注）講師（非常勤）：客員教授を含む

3) 全体

所 属	実施対象教員数	実施者数	未実施者数	実施率（%）
専任教員	226	226	0	100.00%
講師（非常勤）	361	303	58	83.93%
合 計	587	529	58	90.12%

3. 実施科目数

所 属	専任教員	非常勤講師	合 計
商 学 部	259	259	518
政 経 学 部	297	292	589
外 国 語 学 部	168	244	412
工 学 部	146	84	230
国 際 学 部	177	181	358
兼 担	12	33	45
合 計	1,059	1,093	2,152

4. アンケート回答数（延べ人数）

回答者の所属	1 年	2 年	3 年	4 年	その他	合 計
商 学 部	3,812	3,034	2,525	808	7	10,186
政 経 学 部	3,971	4,104	2,961	1,016	2	12,054
外 国 語 学 部	1,950	2,133	1,115	309	4	5,511
工 学 部	2,523	2,098	1,140	72	1	5,834
国 際 学 部	1,840	2,055	914	283	11	5,103
合 計	14,096	13,424	8,655	2,488	25	38,688

5. 学科目別実施科目数

所 属	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼 担	合 計
商学部初期教育科目	24						24
商学部専門科目	167	3	3		4	2	179
政経学部専門科目	3	173	1	1	1	5	184
外国語学部専門科目	2	8	270	2	5	6	293
工学部専門科目（講義）				115			115
工学部専門科目（実験実習）				34			34
国際学部専門科目	1	1			61	5	68
教養教育科目	25	48	12	14	24	7	130
外国語科目	172	192	72	50	171	20	677
スポーツ・トレーニング科目	3	8		8			19
教職・社教・日語講座科目	13	18	5	6	10		52
ゼミナール・外書講読	108	138	49		82		377
合 計	518	589	412	230	358	45	2,152

（注）教養教育科目：国際学部基礎科目を含む

外国語科目：英語、第2外国語、選択外国語、地域言語、留学生用の日本語

Ⅲ 全体集計

1. 学科目別（講義等科目） 平均値・標準偏差

設問項目	区分	商学部初期教育科目	商学部専門科目	政経学部専門科目	外国語学部専門科目	工学部専門科目（講義）	国際学部専門科目	教養教育科目	外国語科目	教職・社教・日語講座科目	ゼミナール・外書講読	全体
		科目数： (24)	科目数： (179)	科目数： (184)	科目数： (293)	科目数： (115)	科目数： (68)	科目数： (130)	科目数： (677)	科目数： (52)	科目数： (377)	科目数： (2099)
1-(1)	平均値	4.76	4.71	4.65	4.71	4.82	4.73	4.79	4.75	4.76	4.72	4.73
	標準偏差	0.54	0.60	0.69	0.60	0.49	0.60	0.52	0.58	0.51	0.62	0.88
1-(2)	平均値	3.15	4.14	4.04	4.19	4.08	4.40	4.09	4.24	4.22	3.96	4.12
	標準偏差	1.35	0.93	1.01	0.89	1.03	0.82	1.08	0.89	0.92	1.02	1.46
1-(3)	平均値	1.60	1.75	1.74	2.13	1.99	1.79	1.69	2.13	1.81	2.41	1.93
	標準偏差	0.90	0.97	0.94	1.03	1.01	0.96	0.92	1.02	0.98	1.30	1.90
2-(1)	平均値	4.27	4.33	4.34	4.35	4.21	4.39	4.31	4.30	4.37	4.43	4.32
	標準偏差	0.71	0.67	0.67	0.68	0.71	0.65	0.67	0.70	0.69	0.68	0.97
2-(4)	平均値	4.03	4.15	4.08	4.10	3.67	3.83	3.71	3.99	4.12	4.43	4.01
	標準偏差	0.96	0.86	0.90	0.90	0.92	0.88	0.89	0.91	0.91	0.72	1.11
2-(5)	平均値	4.08	4.22	4.17	4.09	3.74	3.92	3.74	4.06	4.13	4.41	4.07
	標準偏差	0.79	0.77	0.79	0.83	0.84	0.86	0.85	0.82	0.83	0.71	1.06
2-(6)	平均値	3.56	3.64	3.55	4.14	3.51	3.69	3.54	4.11	4.13	4.49	3.83
	標準偏差	1.11	1.07	1.08	0.88	0.92	0.93	0.92	0.87	0.92	0.70	1.20
2-(7)	平均値	2.90	2.61	2.60	2.76	2.66	2.56	2.54	2.81	2.64	3.39	2.72
	標準偏差	1.32	1.28	1.25	1.33	1.24	1.29	1.28	1.28	1.30	1.21	1.84
2-(8)	平均値	4.12	4.28	4.25	4.31	4.01	4.32	4.13	4.24	4.37	4.58	4.25
	標準偏差	0.76	0.72	0.74	0.76	0.82	0.76	0.77	0.77	0.74	0.60	0.91
2-(9)	平均値	4.38	4.39	4.37	4.37	4.16	4.37	4.22	4.33	4.37	4.46	4.34
	標準偏差	0.73	0.72	0.74	0.74	0.84	0.77	0.77	0.76	0.77	0.73	1.04
2-(10)	平均値	4.26	4.29	4.22	4.30	4.08	4.27	4.22	4.27	4.38	4.41	4.26
	標準偏差	0.75	0.77	0.84	0.76	0.87	0.82	0.80	0.76	0.76	0.70	1.00
2-(11)	平均値	4.01	3.91	3.85	4.10	3.69	4.08	4.00	4.01	4.11	4.37	3.98
	標準偏差	0.81	0.86	0.88	0.79	0.91	0.83	0.82	0.84	0.79	0.63	0.98
2-(12)	平均値	3.94	4.00	3.94	4.10	3.79	4.21	4.01	3.98	4.19	4.48	4.03
	標準偏差	0.87	0.89	0.91	0.88	0.93	0.84	0.88	0.91	0.83	0.65	1.02
2-(13)	平均値	3.86	4.00	3.96	4.00	3.77	4.20	4.00	3.85	4.22	4.49	3.99
	標準偏差	0.90	0.85	0.87	0.90	0.92	0.79	0.86	0.95	0.81	0.66	1.06
2-(14)	平均値	4.07	4.13	4.07	4.18	3.84	4.23	4.13	4.13	4.26	4.58	4.14
	標準偏差	0.84	0.81	0.85	0.84	0.92	0.81	0.81	0.84	0.80	0.62	0.98

○回答「3.0」が適切である項目

2-(2)	平均値	3.42	3.56	3.58	3.44	3.64	3.41	3.42	3.40	3.44	3.34	3.48
	標準偏差	0.80	0.69	0.71	0.68	0.75	0.63	0.69	0.74	0.60	0.63	0.90
2-(3)	平均値	3.29	3.19	3.22	3.16	3.27	3.15	3.16	3.15	3.21	3.05	3.17
	標準偏差	0.79	0.56	0.56	0.53	0.62	0.45	0.49	0.56	0.51	0.38	0.55

2. 教員所属別（講義等科目）

（1）専任教員所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	専任教員全体	講師全体	全体
		科目数： (259)	科目数： (297)	科目数： (168)	科目数： (146)	科目数： (177)	科目数： (12)	科目数： (1059)	科目数： (1093)	科目数： (2152)
1-(1)	平均値	4.73	4.71	4.75	4.80	4.71	4.78	4.73	4.73	4.73
	標準偏差	0.59	0.63	0.57	0.52	0.64	0.58	0.60	0.59	0.60
1-(2)	平均値	4.13	4.15	4.22	4.02	4.23	4.38	4.15	4.10	4.12
	標準偏差	0.96	0.95	0.88	1.05	0.94	0.85	0.96	1.00	0.98
1-(3)	平均値	1.88	1.90	2.20	1.98	1.93	1.73	1.94	1.92	1.93
	標準偏差	1.05	1.05	1.10	1.01	1.05	0.99	1.05	1.00	1.03
2-(1)	平均値	4.35	4.36	4.37	4.22	4.40	4.34	4.34	4.30	4.32
	標準偏差	0.67	0.67	0.67	0.71	0.68	0.63	0.67	0.70	0.68
2-(4)	平均値	4.19	4.12	4.16	3.74	4.04	3.44	4.07	3.93	4.01
	標準偏差	0.84	0.86	0.87	0.91	0.87	0.76	0.88	0.94	0.91
2-(5)	平均値	4.23	4.15	4.15	3.79	4.06	3.48	4.11	4.01	4.07
	標準偏差	0.78	0.81	0.80	0.86	0.85	0.76	0.83	0.84	0.83
2-(6)	平均値	3.75	3.74	4.17	3.58	3.96	3.30	3.79	3.88	3.83
	標準偏差	1.06	1.04	0.87	0.93	0.93	0.75	1.01	0.98	1.00
2-(7)	平均値	2.71	2.74	2.82	2.64	2.81	2.46	2.73	2.71	2.72
	標準偏差	1.29	1.29	1.31	1.26	1.31	1.16	1.29	1.29	1.29
2-(8)	平均値	4.32	4.32	4.34	4.04	4.41	4.27	4.29	4.20	4.25
	標準偏差	0.71	0.72	0.72	0.80	0.72	0.77	0.74	0.78	0.76
2-(9)	平均値	4.38	4.36	4.40	4.19	4.41	4.21	4.35	4.32	4.34
	標準偏差	0.73	0.75	0.70	0.85	0.74	0.79	0.75	0.77	0.76
2-(10)	平均値	4.31	4.28	4.32	4.11	4.34	4.30	4.28	4.23	4.26
	標準偏差	0.75	0.79	0.74	0.86	0.77	0.68	0.78	0.80	0.79
2-(11)	平均値	3.98	4.00	4.10	3.74	4.22	4.05	4.00	3.96	3.98
	標準偏差	0.83	0.82	0.78	0.91	0.77	0.70	0.83	0.86	0.85
2-(12)	平均値	4.08	4.07	4.14	3.82	4.29	4.16	4.07	3.97	4.03
	標準偏差	0.87	0.88	0.84	0.93	0.80	0.81	0.88	0.92	0.89
2-(13)	平均値	4.07	4.08	4.07	3.79	4.28	4.13	4.06	3.90	3.99
	標準偏差	0.83	0.84	0.86	0.92	0.77	0.78	0.85	0.93	0.89
2-(14)	平均値	4.19	4.21	4.22	3.89	4.35	4.26	4.18	4.09	4.14
	標準偏差	0.79	0.80	0.82	0.90	0.77	0.70	0.82	0.86	0.84

○回答「3.0」が適切である項目

2-(2)	平均値	3.53	3.49	3.47	3.59	3.35	3.31	3.50	3.46	3.48
	標準偏差	0.68	0.68	0.64	0.75	0.62	0.58	0.68	0.74	0.71
2-(3)	平均値	3.18	3.16	3.15	3.25	3.11	3.11	3.17	3.18	3.17
	標準偏差	0.54	0.50	0.50	0.60	0.42	0.40	0.52	0.57	0.54

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

(2) 講師 (非常勤) 所属別

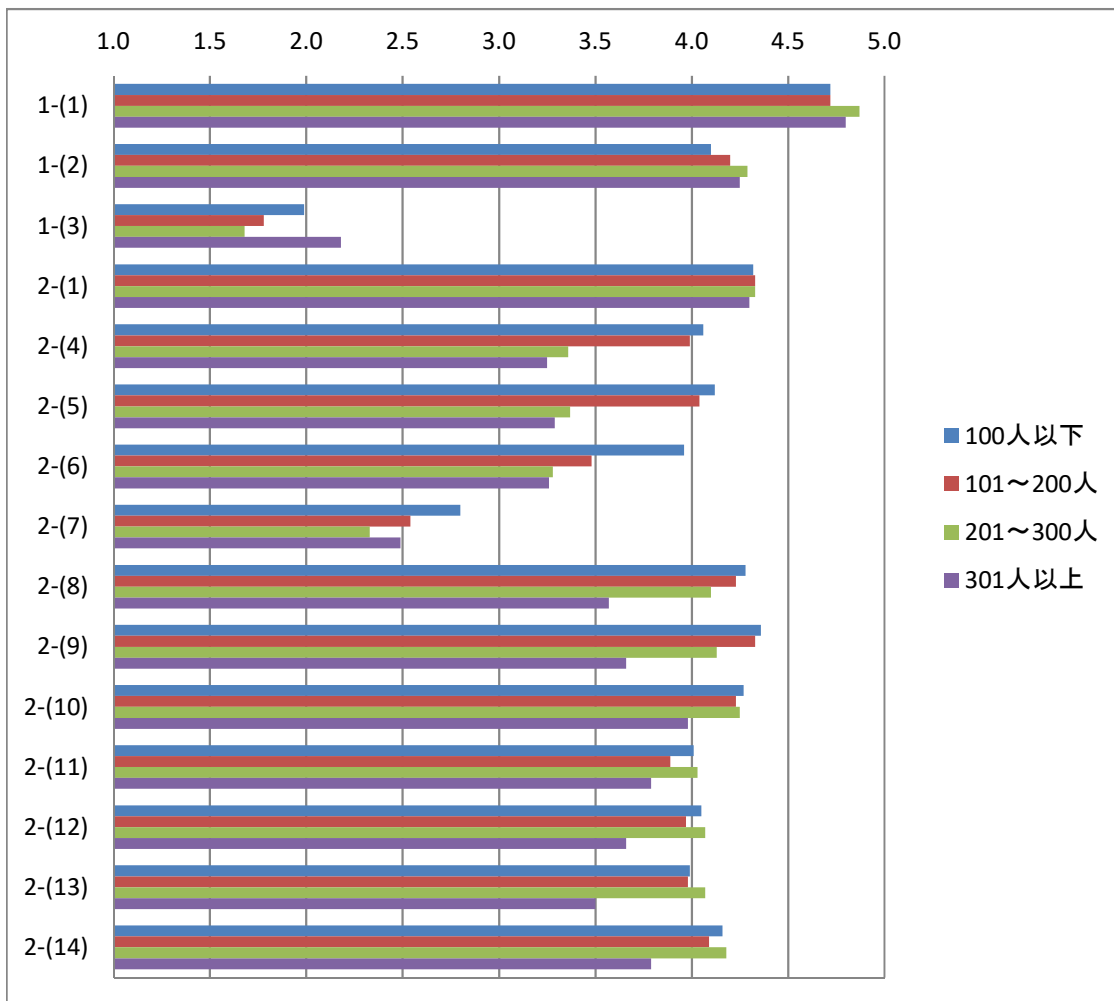
設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	講師全体	専任教員全体	全体
		科目数: (259)	科目数: (292)	科目数: (244)	科目数: (84)	科目数: (181)	科目数: (33)	科目数: (1093)	科目数: (1059)	科目数: (2152)
1-(1)	平均値	4.73	4.72	4.71	4.79	4.70	4.76	4.73	4.73	4.73
	標準偏差	0.58	0.60	0.61	0.50	0.63	0.52	0.59	0.60	0.60
1-(2)	平均値	4.12	4.05	4.16	4.02	4.09	4.24	4.10	4.15	4.12
	標準偏差	0.99	1.05	0.93	1.06	1.00	0.83	1.00	0.96	0.98
1-(3)	平均値	1.95	1.83	1.96	1.94	1.98	2.14	1.92	1.94	1.93
	標準偏差	1.04	0.95	0.97	0.99	1.06	1.01	1.00	1.05	1.03
2-(1)	平均値	4.31	4.29	4.33	4.19	4.30	4.46	4.30	4.34	4.32
	標準偏差	0.68	0.71	0.68	0.72	0.71	0.60	0.70	0.67	0.68
2-(4)	平均値	4.03	3.80	4.01	3.73	4.00	4.08	3.93	4.07	4.01
	標準偏差	0.91	0.97	0.93	0.92	0.90	0.84	0.94	0.88	0.91
2-(5)	平均値	4.10	3.94	4.06	3.85	4.05	4.02	4.01	4.11	4.07
	標準偏差	0.80	0.86	0.85	0.81	0.85	0.80	0.84	0.83	0.83
2-(6)	平均値	3.92	3.67	4.11	3.79	3.98	4.01	3.88	3.79	3.83
	標準偏差	0.97	1.03	0.87	0.95	0.96	0.85	0.98	1.01	1.00
2-(7)	平均値	2.80	2.61	2.74	2.63	2.71	3.10	2.71	2.73	2.72
	標準偏差	1.28	1.25	1.34	1.25	1.35	1.28	1.29	1.29	1.29
2-(8)	平均値	4.24	4.10	4.31	4.07	4.28	4.37	4.20	4.29	4.25
	標準偏差	0.75	0.80	0.76	0.80	0.76	0.69	0.78	0.74	0.76
2-(9)	平均値	4.35	4.27	4.33	4.27	4.35	4.41	4.32	4.35	4.34
	標準偏差	0.74	0.80	0.77	0.72	0.76	0.67	0.77	0.75	0.76
2-(10)	平均値	4.27	4.18	4.28	4.10	4.25	4.38	4.23	4.28	4.26
	標準偏差	0.75	0.84	0.77	0.84	0.79	0.65	0.80	0.78	0.79
2-(11)	平均値	3.98	3.87	4.06	3.76	4.07	4.32	3.96	4.00	3.98
	標準偏差	0.85	0.88	0.84	0.88	0.83	0.67	0.86	0.83	0.85
2-(12)	平均値	4.00	3.90	4.07	3.75	4.05	4.22	3.97	4.07	4.03
	標準偏差	0.88	0.93	0.91	0.95	0.90	0.77	0.92	0.88	0.89
2-(13)	平均値	3.93	3.85	3.94	3.73	3.95	4.22	3.90	4.06	3.99
	標準偏差	0.90	0.94	0.94	0.94	0.93	0.77	0.93	0.85	0.89
2-(14)	平均値	4.11	4.01	4.17	3.90	4.17	4.38	4.09	4.18	4.14
	標準偏差	0.82	0.89	0.84	0.90	0.84	0.63	0.86	0.82	0.84

○回答「3.0」が適切である項目

2-(2)	平均値	3.45	3.51	3.44	3.54	3.38	3.23	3.46	3.50	3.48
	標準偏差	0.74	0.75	0.72	0.75	0.75	0.59	0.74	0.68	0.71
2-(3)	平均値	3.19	3.20	3.17	3.18	3.15	3.05	3.18	3.17	3.17
	標準偏差	0.58	0.57	0.55	0.59	0.57	0.41	0.57	0.52	0.54

(注) 講師 (非常勤) : 客員教授を含む

3. 履修登録者数別比較表（講義科目）



(注) 2-(2) 難易度、2-(3) 進度(3の回答が適切)は回答の基準が異なるため、掲載していない。

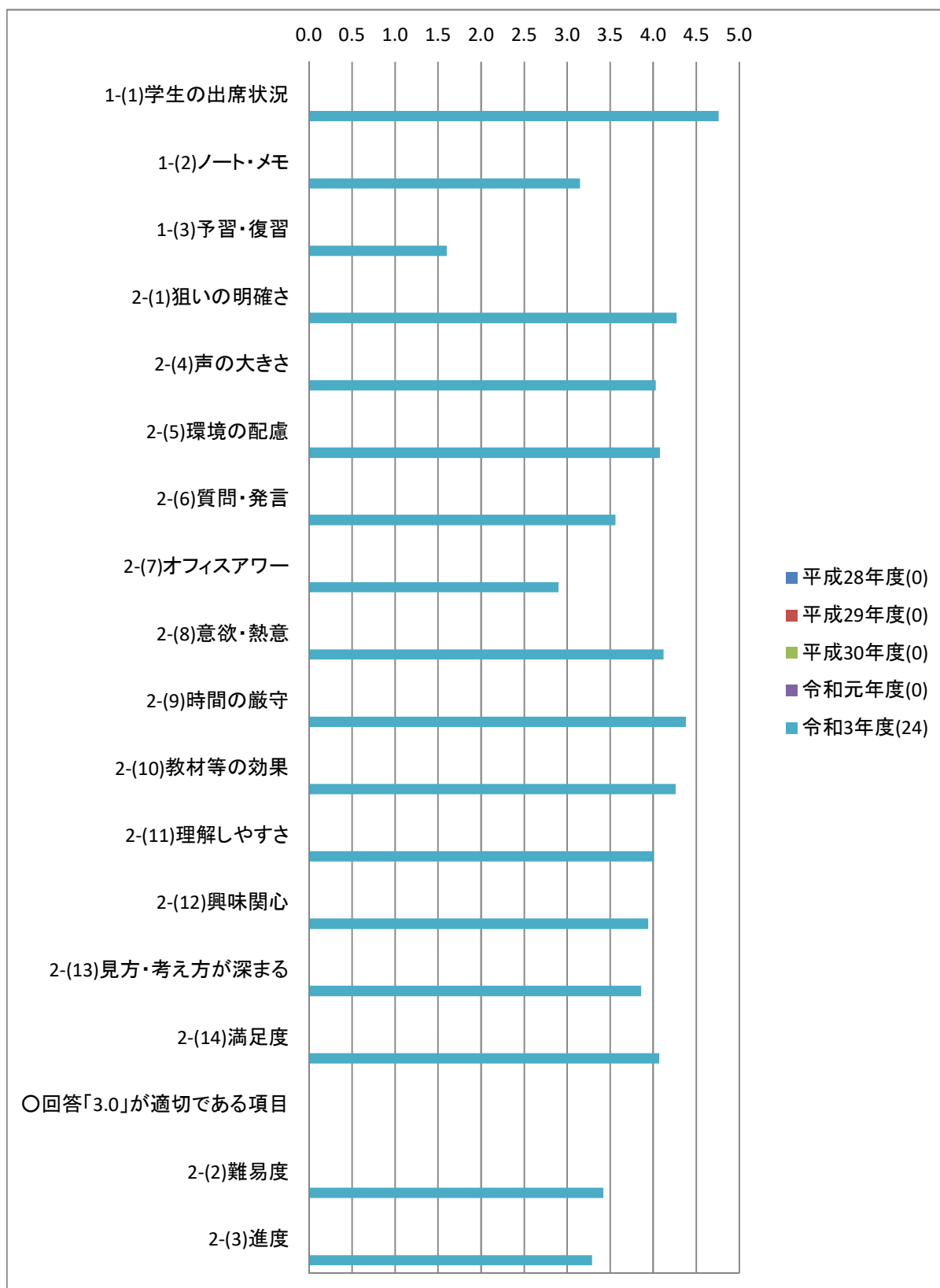
○平均値

区分		100人以下	101~200人	201~300人	301人以上
科目数		2,009	120	21	2
1-(1)	学生の出席状況	4.72	4.72	4.87	4.80
1-(2)	ノート・メモ	4.10	4.20	4.29	4.25
1-(3)	予習・復習	1.99	1.78	1.68	2.18
2-(1)	狙いの明確さ	4.32	4.33	4.33	4.30
2-(4)	声の大きさ	4.06	3.99	3.36	3.25
2-(5)	環境の配慮	4.12	4.04	3.37	3.29
2-(6)	質問・発言	3.96	3.48	3.28	3.26
2-(7)	オフィスアワー	2.80	2.54	2.33	2.49
2-(8)	意欲・熱意	4.28	4.23	4.10	3.57
2-(9)	時間の厳守	4.36	4.33	4.13	3.66
2-(10)	教材等の効果	4.27	4.23	4.25	3.98
2-(11)	理解しやすさ	4.01	3.89	4.03	3.79
2-(12)	興味関心	4.05	3.97	4.07	3.66
2-(13)	見方・考え方が深まる	3.99	3.98	4.07	3.50
2-(14)	満足度	4.16	4.09	4.18	3.79

4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）

（1）学科目別平均値

①商学部初期教育科目



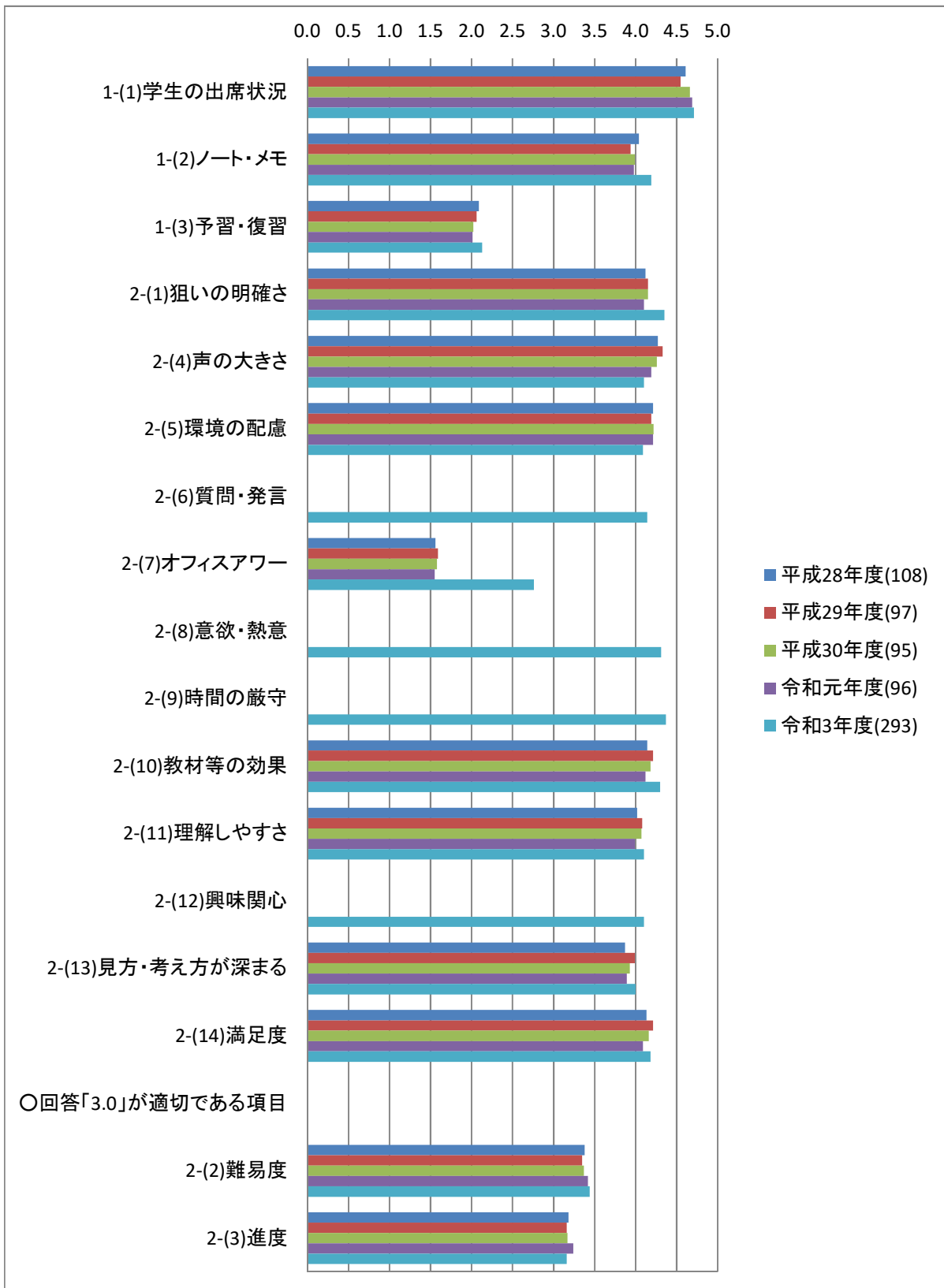
②商学部専門科目



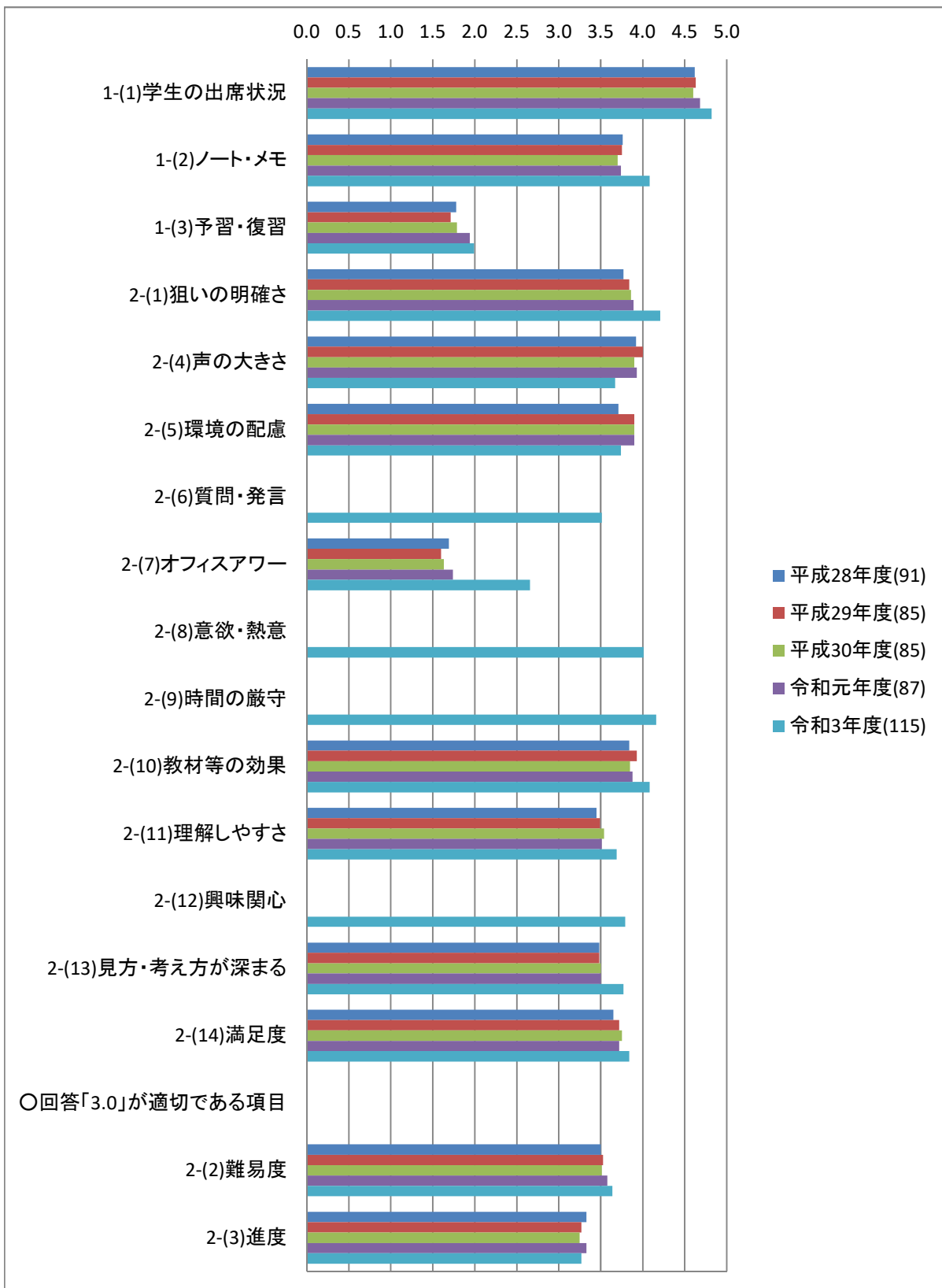
③政経学部専門科目



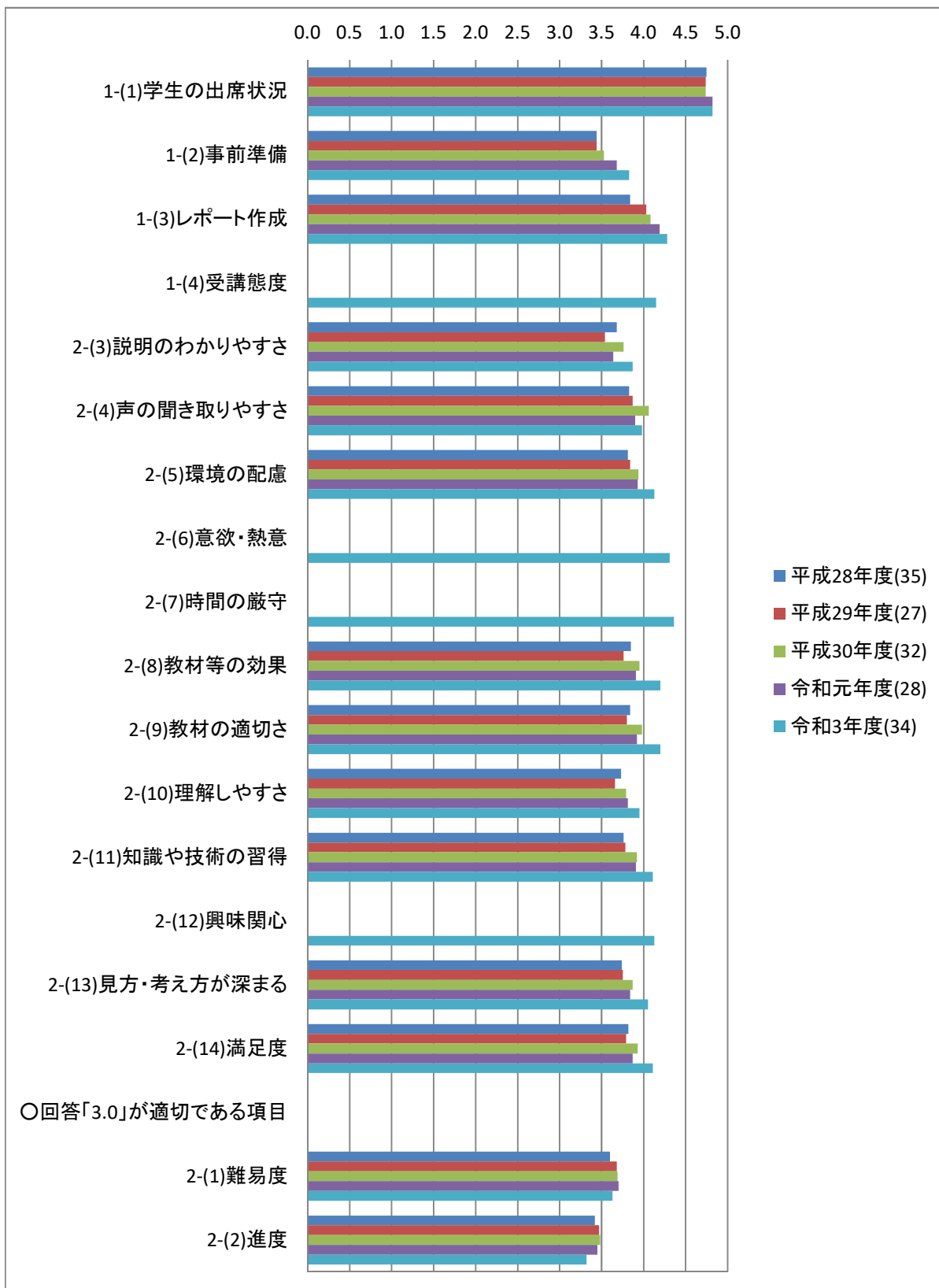
④外国語学部専門科目



⑤工学部専門科目
・講義等科目



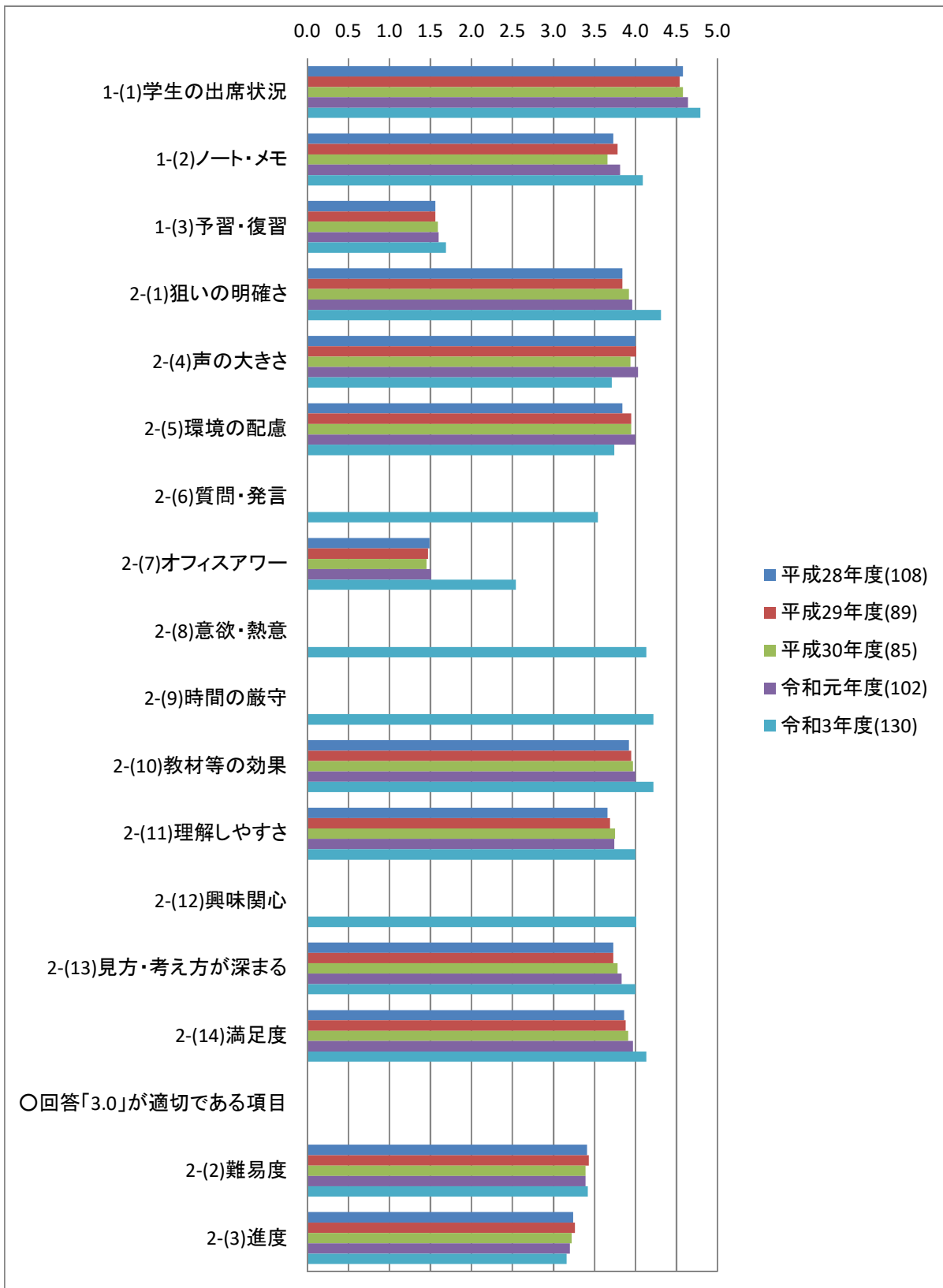
・工学部 実験・実習科目



⑥国際学部専門科目



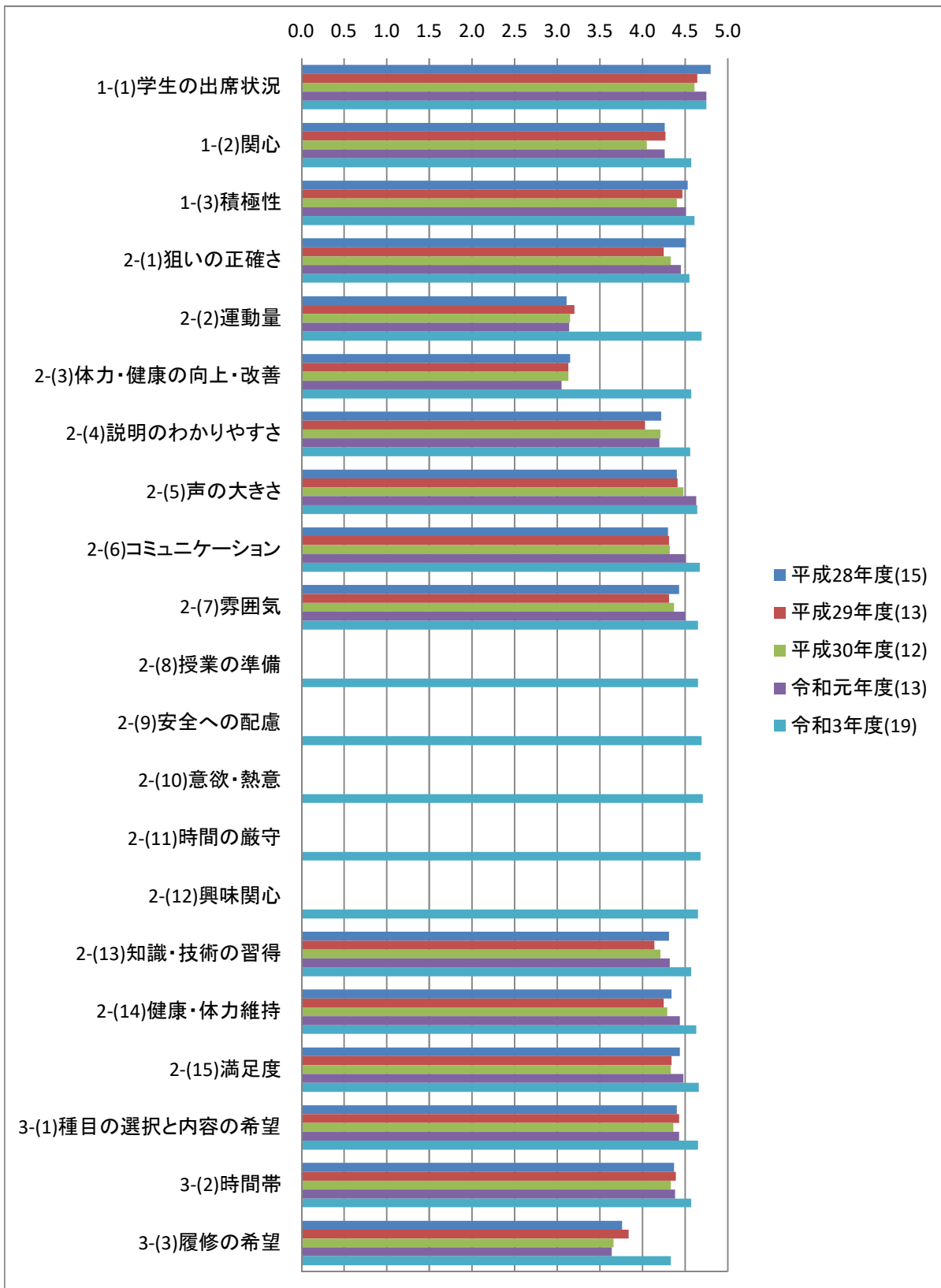
⑦教養教育科目



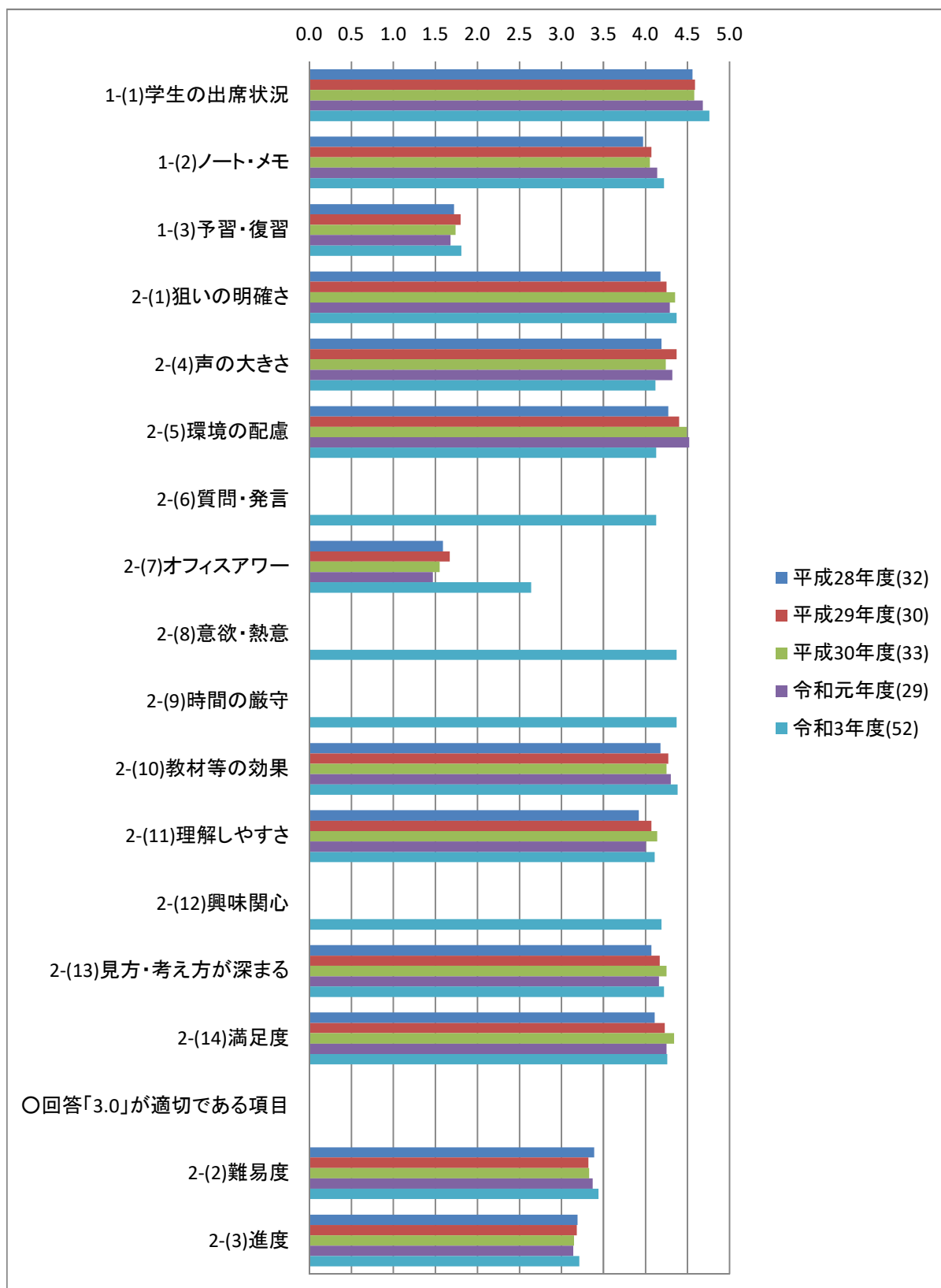
⑧外国語科目



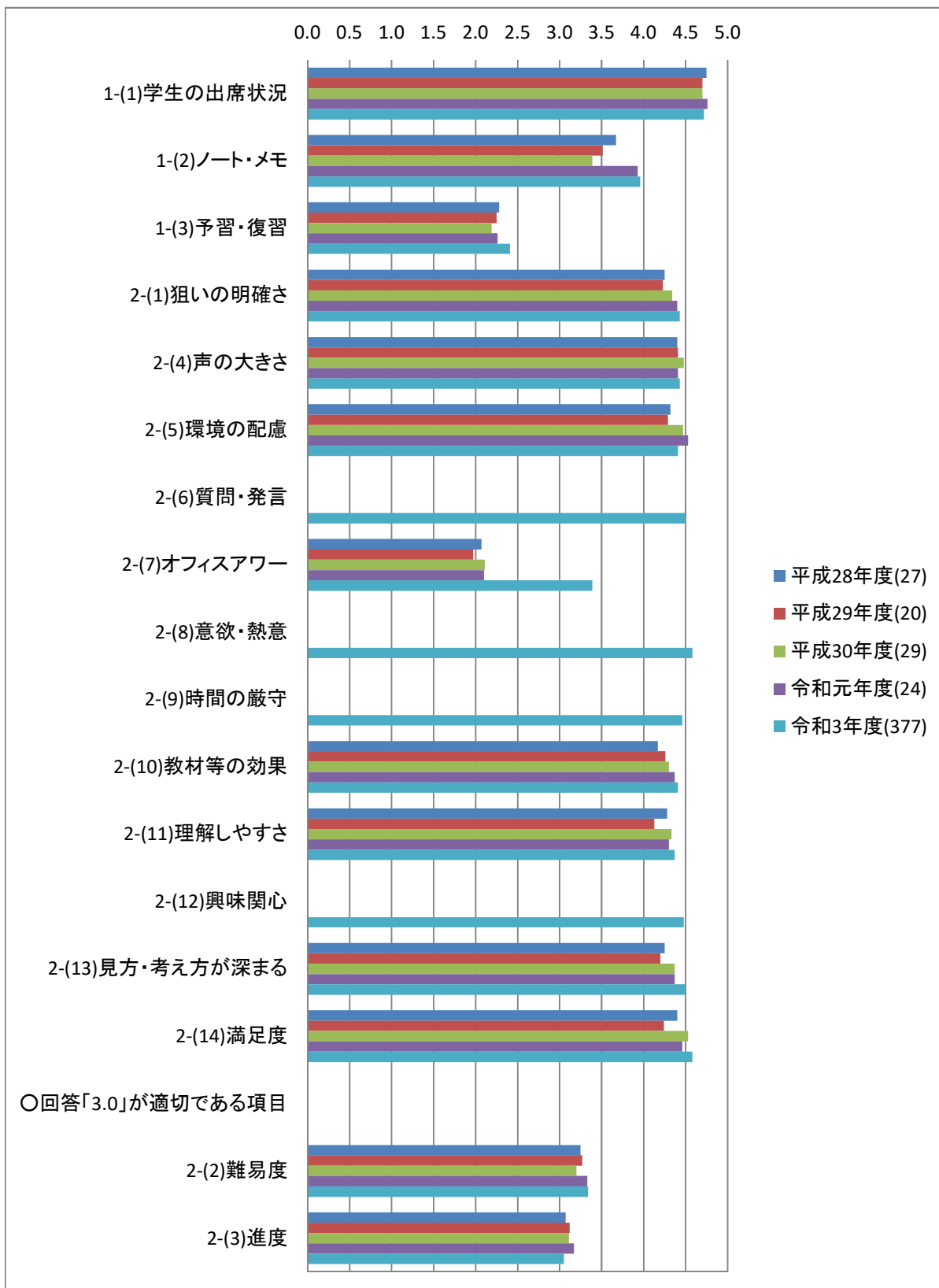
⑨スポーツ・トレーニング科目



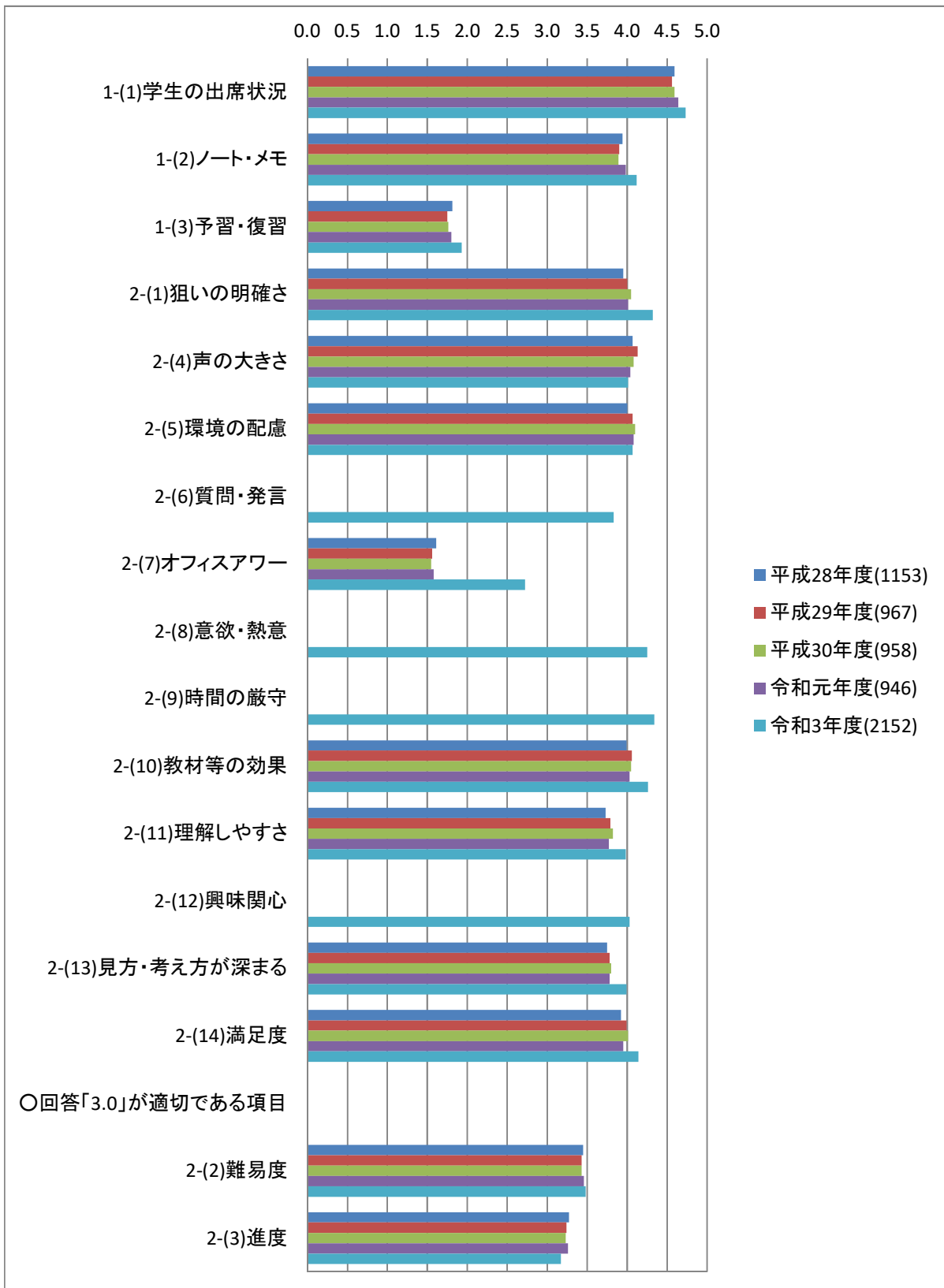
⑩教職・社教・日語科目



⑪ゼミ・外書講読科目



⑫全体（講義等科目）



(2) 学生所属別平均値・標準偏差 (講義科目)

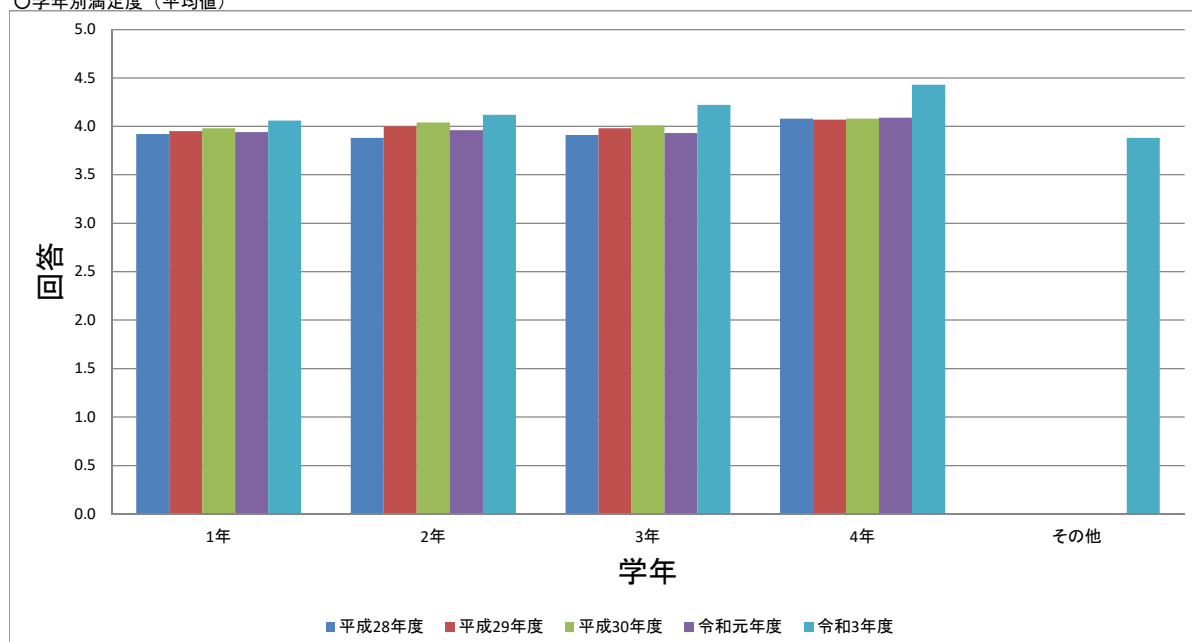
① 学年別

設問項目	区分	1年	2年	3年	4年	その他
		回答件数:(14096)	回答件数:(13424)	回答件数:(8655)	回答件数:(2488)	回答件数:(25)
1-(1) 学生の出席状況	平均値	4.78	4.75	4.67	4.51	4.84
	標準偏差	0.55	0.57	0.63	0.75	0.37
1-(2) ノート・メモ	平均値	4.11	4.17	4.11	4.05	3.96
	標準偏差	1.02	0.94	0.96	0.96	1.15
1-(3) 予習・復習	平均値	1.90	1.96	1.92	2.05	1.36
	標準偏差	1.01	1.03	1.03	1.17	0.89
2-(1) 狙いの明確さ	平均値	4.29	4.31	4.35	4.48	3.84
	標準偏差	0.70	0.68	0.67	0.62	1.01
2-(4) 声の大きさ	平均値	3.96	3.98	4.07	4.25	3.76
	標準偏差	0.93	0.90	0.88	0.83	1.03
2-(5) 環境の配慮	平均値	4.03	4.02	4.14	4.29	3.76
	標準偏差	0.83	0.84	0.82	0.79	0.99
2-(6) 質問・発言	平均値	3.82	3.82	3.82	3.99	3.64
	標準偏差	0.99	1.00	1.00	1.01	1.29
2-(7) オフィスアワー	平均値	2.79	2.70	2.61	2.88	1.60
	標準偏差	1.29	1.28	1.28	1.34	0.94
2-(8) 意欲・熱意	平均値	4.20	4.23	4.31	4.44	3.96
	標準偏差	0.77	0.77	0.73	0.65	1.11
2-(9) 時間の厳守	平均値	4.29	4.33	4.38	4.49	4.00
	標準偏差	0.78	0.76	0.73	0.70	1.02
2-(10) 教材等の効果	平均値	4.23	4.24	4.29	4.40	4.00
	標準偏差	0.80	0.79	0.78	0.72	1.02
2-(11) 理解しやすさ	平均値	3.91	3.97	4.05	4.23	3.72
	標準偏差	0.89	0.83	0.80	0.74	0.87
2-(12) 興味関心	平均値	3.94	4.01	4.11	4.32	3.88
	標準偏差	0.92	0.90	0.85	0.77	1.03
2-(13) 見方・考え方が深まる	平均値	3.89	3.95	4.11	4.31	3.96
	標準偏差	0.92	0.89	0.83	0.76	1.04
2-(14) 満足度	平均値	4.06	4.12	4.22	4.43	3.88
	標準偏差	0.87	0.84	0.80	0.70	1.18

○3の回答が適切である項目

2-(2) 難易度	平均値	3.53	3.46	3.46	3.38	3.32
	標準偏差	0.74	0.71	0.67	0.65	0.79
2-(3) 進度	平均値	3.22	3.16	3.15	3.10	3.20
	標準偏差	0.59	0.53	0.50	0.43	0.69

○学年別満足度 (平均値)



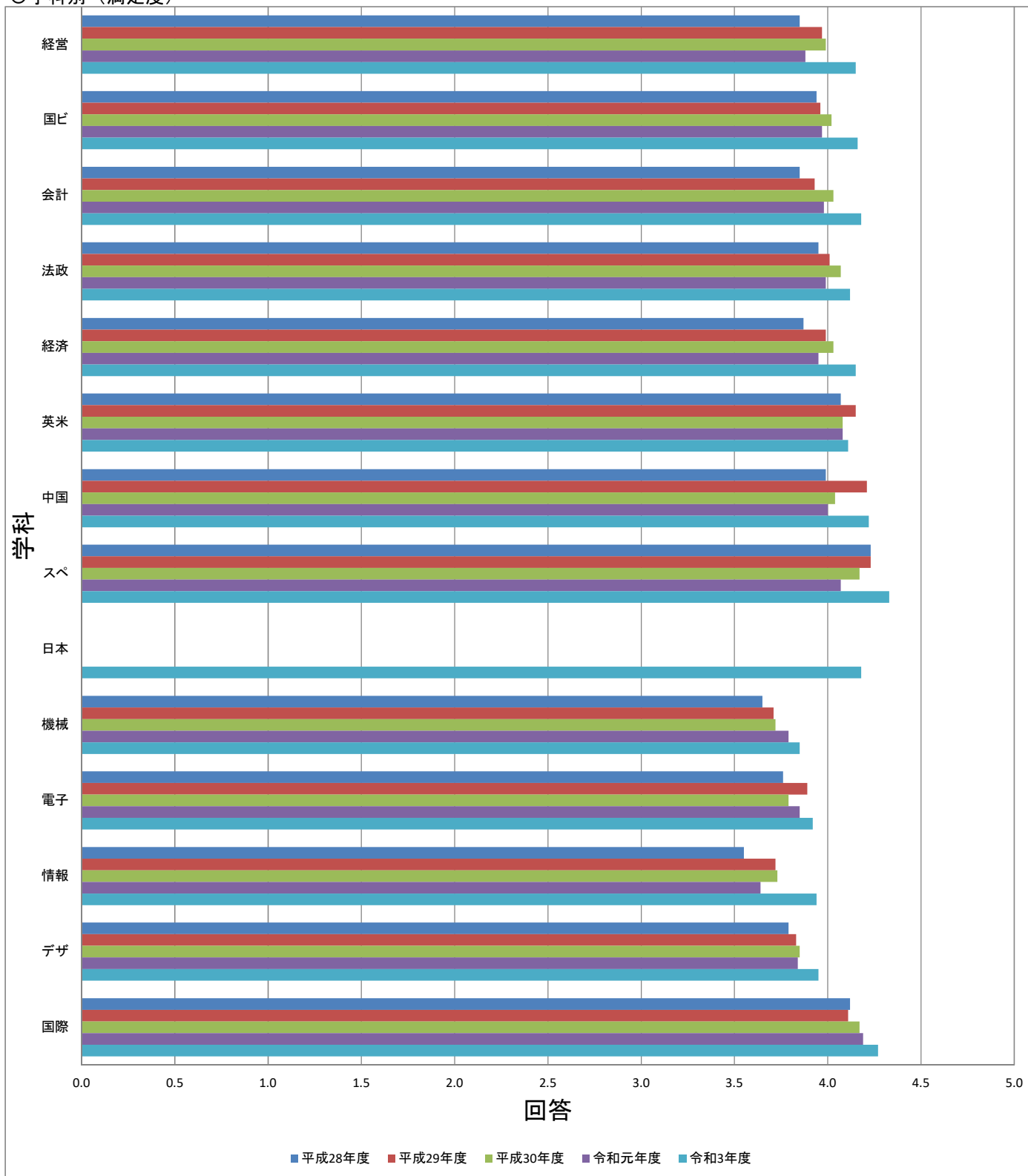
②学科別

設問項目	区分	商学部			政経学部		外国語学部				工学部				国際学部
		経営学科	国際ビジネス学科	会計学科	法律政治学科	経済学科	英米語学科	中国語学科	スペイン語学科	国際日本語学科	機械システム工学科	電子システム工学科	情報工学科	デザイン学科	国際学科
		回答件数: (6648)	回答件数: (2441)	回答件数: (1097)	回答件数: (4037)	回答件数: (8017)	回答件数: (2355)	回答件数: (1186)	回答件数: (1074)	回答件数: (896)	回答件数: (1404)	回答件数: (1515)	回答件数: (1525)	回答件数: (1390)	回答件数: (5103)
1-(1) 学生の出席状況	平均値	4.75	4.71	4.66	4.68	4.73	4.75	4.67	4.59	4.84	4.82	4.86	4.80	4.73	4.70
	標準偏差	0.55	0.61	0.67	0.66	0.60	0.53	0.65	0.75	0.41	0.46	0.46	0.50	0.58	0.64
1-(2) ノート・メモ	平均値	4.12	4.14	4.07	4.14	4.12	4.05	4.17	4.23	4.17	4.03	4.05	3.93	4.09	4.22
	標準偏差	0.98	0.96	1.01	0.95	0.98	1.03	0.93	0.86	0.90	1.09	1.07	1.10	0.95	0.92
1-(3) 予習・復習	平均値	1.86	1.85	1.90	1.87	1.93	2.04	1.91	2.16	2.19	1.87	2.01	1.92	1.91	1.99
	標準偏差	1.03	1.03	1.05	1.03	1.02	1.07	1.00	0.97	1.10	1.04	1.01	0.97	1.00	1.05
2-(1) 狙いの明確さ	平均値	4.32	4.35	4.34	4.32	4.36	4.30	4.37	4.42	4.36	4.12	4.21	4.23	4.20	4.36
	標準偏差	0.68	0.68	0.63	0.66	0.68	0.71	0.71	0.58	0.65	0.79	0.71	0.71	0.67	0.69
2-(4) 声の大きさ	平均値	4.07	4.05	4.09	4.01	4.05	4.00	4.10	4.18	4.13	3.71	3.74	3.76	3.64	4.02
	標準偏差	0.89	0.89	0.89	0.93	0.90	0.95	0.94	0.79	0.84	0.96	0.90	0.90	0.91	0.88
2-(5) 環境の配慮	平均値	4.12	4.11	4.14	4.10	4.12	4.02	4.14	4.23	4.05	3.78	3.82	3.80	3.80	4.05
	標準偏差	0.81	0.84	0.82	0.83	0.82	0.87	0.81	0.74	0.81	0.89	0.82	0.83	0.83	0.84
2-(6) 質問・発言	平均値	3.75	3.83	3.71	3.71	3.77	4.00	4.22	4.20	4.12	3.64	3.67	3.75	3.66	3.99
	標準偏差	1.02	1.02	1.03	1.06	1.03	0.97	0.83	0.81	0.81	0.95	0.93	0.92	0.95	0.92
2-(7) オフィスアワー	平均値	2.73	2.71	2.70	2.59	2.85	2.43	2.89	2.99	3.03	2.55	2.91	2.50	2.50	2.72
	標準偏差	1.28	1.31	1.27	1.23	1.29	1.29	1.32	1.32	1.33	1.25	1.27	1.21	1.22	1.31
2-(8) 意欲・熱意	平均値	4.26	4.28	4.26	4.24	4.26	4.23	4.34	4.38	4.32	3.97	4.10	4.08	4.07	4.36
	標準偏差	0.74	0.76	0.70	0.76	0.75	0.80	0.74	0.70	0.73	0.87	0.77	0.75	0.80	0.74
2-(9) 時間の厳守	平均値	4.34	4.36	4.37	4.30	4.37	4.31	4.42	4.45	4.32	4.13	4.21	4.28	4.22	4.38
	標準偏差	0.75	0.75	0.73	0.79	0.74	0.80	0.71	0.63	0.74	0.92	0.82	0.73	0.78	0.75
2-(10) 教材等の効果	平均値	4.27	4.29	4.33	4.24	4.25	4.23	4.36	4.37	4.28	4.06	4.16	4.13	4.16	4.32
	標準偏差	0.76	0.78	0.72	0.79	0.81	0.80	0.75	0.71	0.75	0.92	0.76	0.84	0.82	0.77
2-(11) 理解しやすさ	平均値	3.96	4.01	3.95	3.95	3.95	4.01	4.13	4.17	4.15	3.68	3.78	3.81	3.88	4.14
	標準偏差	0.84	0.84	0.83	0.82	0.86	0.84	0.81	0.70	0.81	0.96	0.85	0.88	0.83	0.82
2-(12) 興味関心	平均値	4.02	4.08	4.01	4.04	3.99	4.04	4.10	4.24	4.14	3.73	3.81	3.85	3.84	4.20
	標準偏差	0.87	0.91	0.86	0.90	0.91	0.92	0.87	0.76	0.85	0.99	0.91	0.91	0.92	0.83
2-(13) 見方・考え方が深まる	平均値	3.99	4.08	3.98	4.00	3.99	3.92	3.95	4.09	4.13	3.66	3.77	3.84	3.82	4.13
	標準偏差	0.86	0.87	0.83	0.90	0.89	0.94	0.92	0.86	0.82	0.98	0.92	0.92	0.90	0.84
2-(14) 満足度	平均値	4.15	4.16	4.18	4.12	4.15	4.11	4.22	4.33	4.18	3.85	3.92	3.94	3.95	4.27
	標準偏差	0.80	0.83	0.76	0.84	0.84	0.89	0.79	0.70	0.82	0.98	0.86	0.86	0.88	0.81

○3の回答が適切である項目

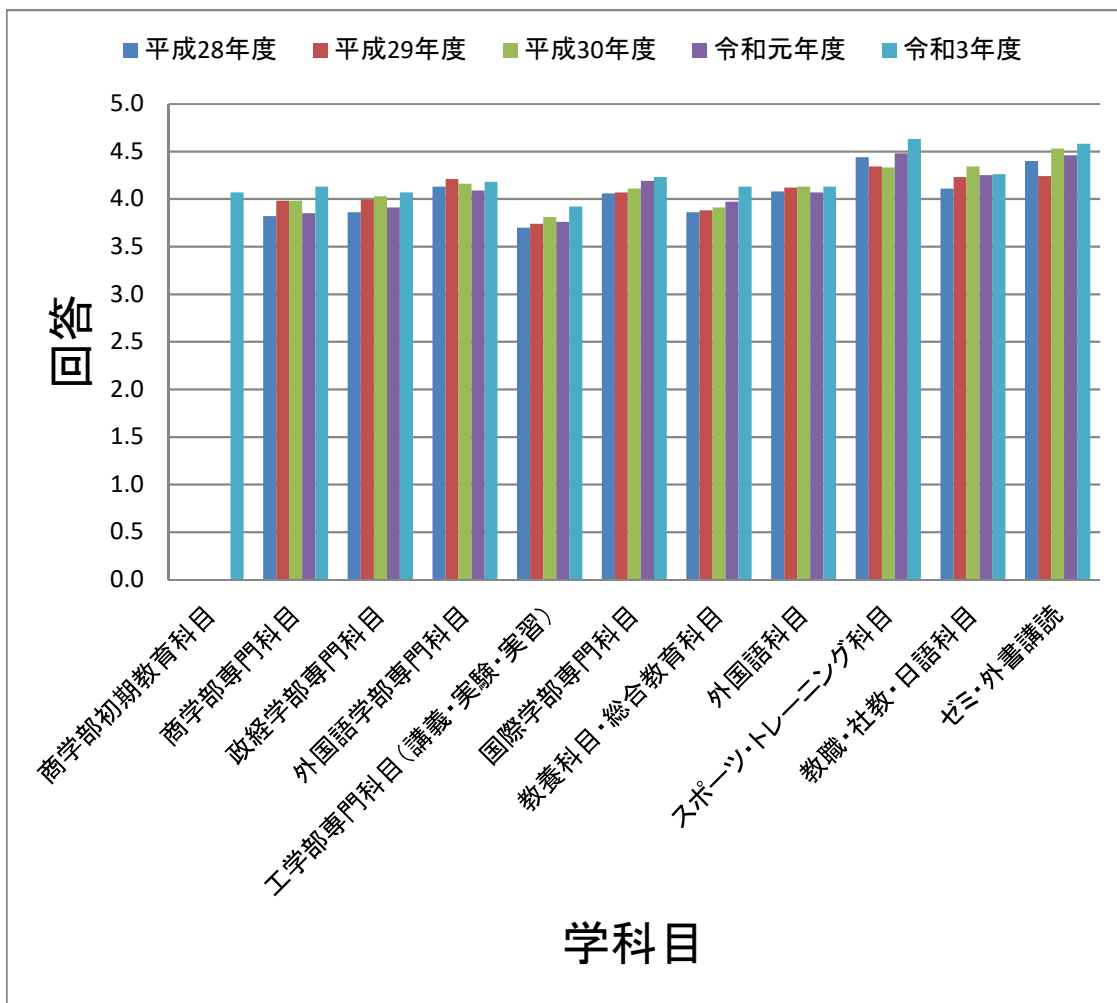
2-(2) 難易度	平均値	3.50	3.45	3.53	3.46	3.53	3.42	3.51	3.49	3.37	3.55	3.58	3.51	3.43	3.39
	標準偏差	0.70	0.72	0.69	0.69	0.72	0.66	0.73	0.67	0.69	0.78	0.75	0.76	0.70	0.69
2-(3) 進捗	平均値	3.19	3.16	3.18	3.16	3.19	3.13	3.21	3.18	3.10	3.23	3.25	3.18	3.13	3.15
	標準偏差	0.56	0.54	0.50	0.52	0.55	0.52	0.56	0.50	0.51	0.63	0.64	0.58	0.52	0.50

○学科別（満足度）



	経営学科	国際ビジネス学科	会計学科	法律政治学科	経済学科	英米語学科	中国語学科	スペイン語学科	国際日本語学科	機械システム工学科	電子システム工学科	情報工学科	デザイン学科	国際学科
平成28年度	3.85	3.94	3.85	3.95	3.87	4.07	3.99	4.23	0.00	3.65	3.76	3.55	3.79	4.12
平成29年度	3.97	3.96	3.93	4.01	3.99	4.15	4.21	4.23	0.00	3.71	3.89	3.72	3.83	4.11
平成30年度	3.99	4.02	4.03	4.07	4.03	4.08	4.04	4.17	0.00	3.72	3.79	3.73	3.85	4.17
令和元年度	3.88	3.97	3.98	3.99	3.95	4.08	4.00	4.07	0.00	3.79	3.85	3.64	3.84	4.19
令和3年度	4.15	4.16	4.18	4.12	4.15	4.11	4.22	4.33	4.18	3.85	3.92	3.94	3.95	4.27

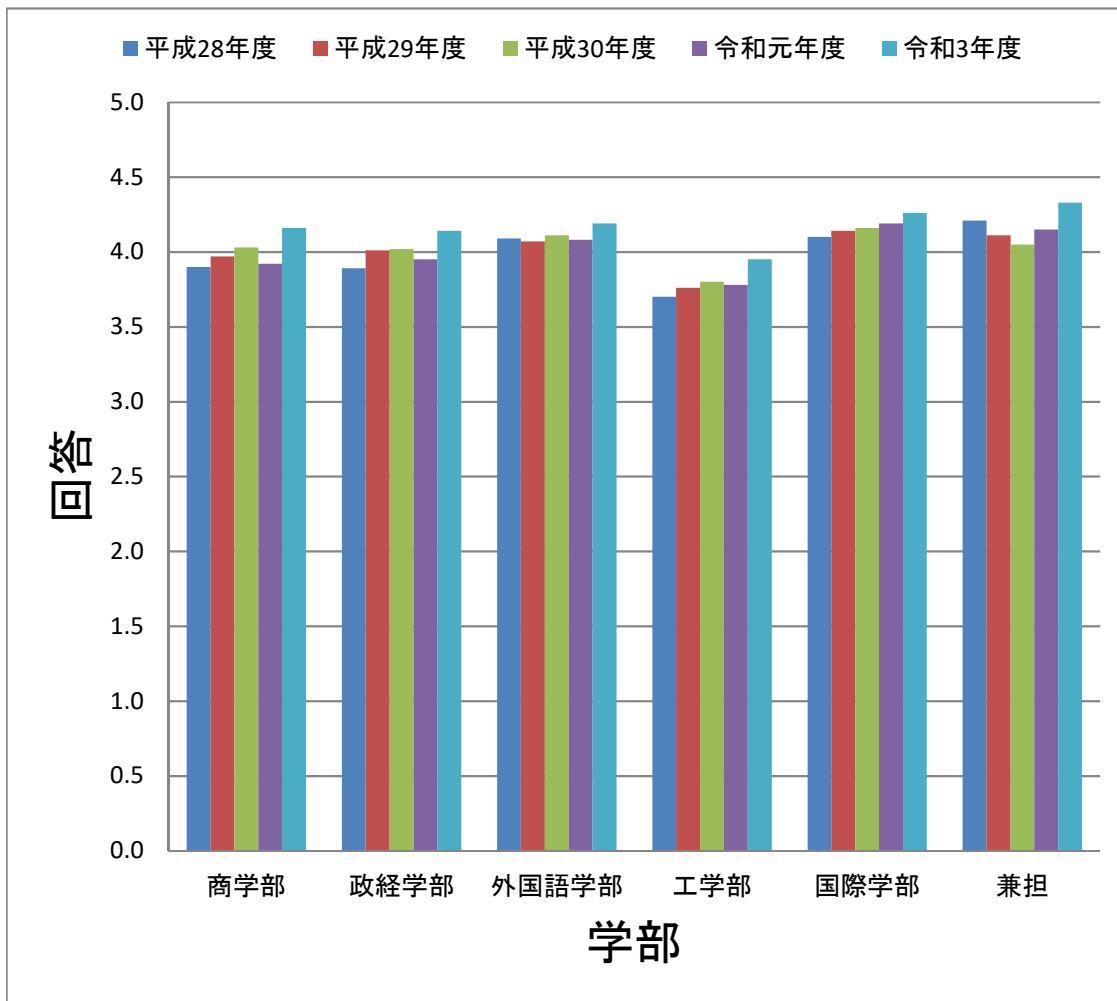
(3) 満足度 平均値
① 学科目別



○ 科目数

平成28年度	0	143	131	108	126	75	108	433	15	32	27
平成29年度	0	130	138	97	112	56	89	319	13	30	20
平成30年度	0	126	141	95	117	61	85	302	12	33	29
令和元年度	0	129	136	96	115	58	102	285	13	29	24
令和3年度	24	179	184	293	149	68	130	677	19	52	377

②所属別

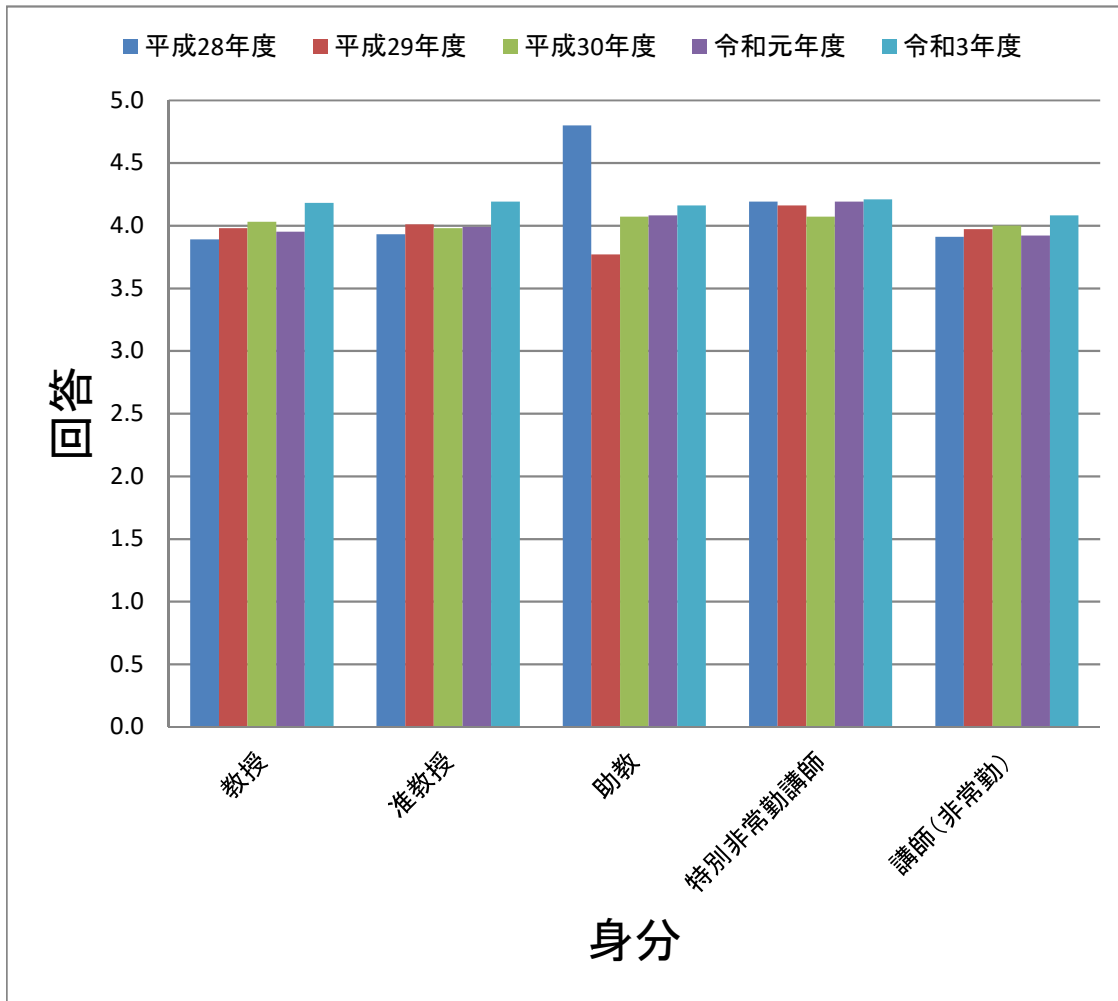


○人数

平成28年度	171	167	80	103	81	16
平成29年度	158	167	81	100	83	19
平成30年度	158	168	84	96	78	18
令和元年度	158	162	85	96	81	17
令和3年度	124	137	90	87	70	20

※講師（非常勤）を含む

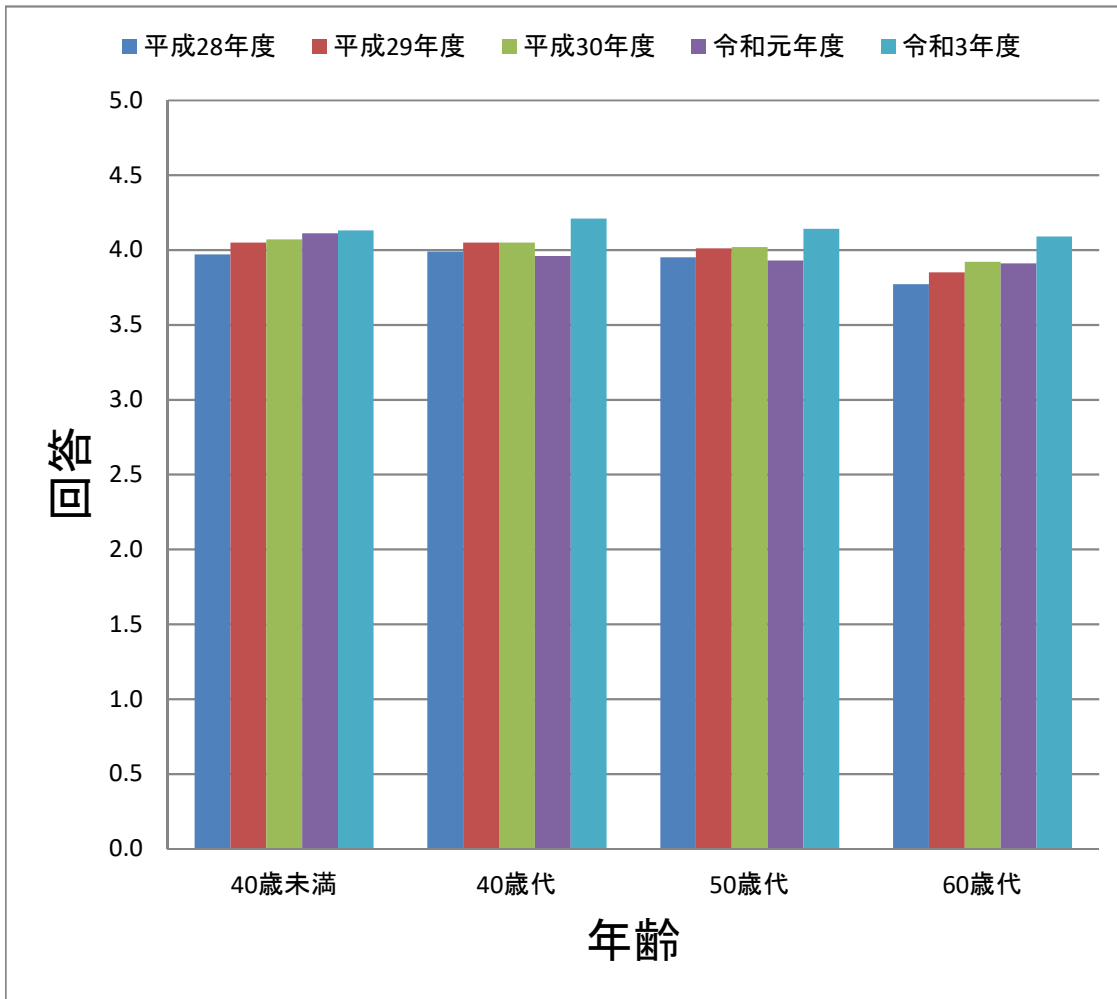
③身分別



○人数

平成28年度	145	65	1	22	385
平成29年度	156	63	2	21	366
平成30年度	148	62	7	24	361
令和元年度	148	58	10	22	361
令和3年度	155	58	12	15	282

④年齢別



○人数

平成28年度	80	155	203	180
平成29年度	78	150	205	175
平成30年度	82	148	203	169
令和元年度	66	144	191	198
令和3年度	48	117	181	182

5. 学科目別 回答の分析

(1) 商学部初期教育科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0	0.22%	4.65%	13.94%	81.19%
1-(2)	17.48%	13.50%	24.34%	26.11%	18.58%
1-(3)	60.40%	24.34%	11.95%	1.11%	2.21%
2-(1)	0.44%	1.33%	8.41%	50.00%	39.82%
2-(2)	2.43%	4.65%	49.34%	35.62%	7.96%
2-(3)	1.99%	6.64%	60.18%	22.79%	8.41%
2-(4)	2.65%	4.87%	13.94%	43.81%	34.73%
2-(5)	0.88%	2.21%	15.93%	50.44%	30.53%
2-(6)	7.08%	7.74%	27.43%	37.17%	20.58%
2-(7)	23.01%	12.83%	26.11%	27.43%	10.62%
2-(8)	1.11%	1.33%	13.50%	53.10%	30.97%
2-(9)	1.11%	0.66%	6.19%	42.70%	49.34%
2-(10)	0.88%	1.33%	9.51%	47.57%	40.71%
2-(11)	1.11%	3.54%	15.27%	53.32%	26.77%
2-(12)	1.55%	4.42%	18.58%	49.56%	25.88%
2-(13)	1.77%	5.09%	22.57%	46.90%	23.67%
2-(14)	2.21%	2.43%	11.28%	53.98%	30.09%

(2) 商学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.21%	0.42%	4.85%	17.55%	76.97%
1-(2)	2.24%	4.29%	11.03%	42.29%	40.15%
1-(3)	52.65%	27.60%	14.43%	2.91%	2.42%
2-(1)	0.37%	0.93%	6.30%	49.76%	42.64%
2-(2)	0.23%	1.77%	48.56%	40.75%	8.70%
2-(3)	0.33%	3.47%	76.47%	16.30%	3.43%
2-(4)	1.17%	3.75%	12.87%	43.79%	38.42%
2-(5)	0.72%	1.66%	11.56%	46.72%	39.35%
2-(6)	4.85%	8.77%	25.74%	38.68%	21.96%
2-(7)	27.46%	18.75%	26.74%	19.09%	7.97%
2-(8)	0.56%	1.45%	7.90%	49.15%	40.94%
2-(9)	0.72%	1.45%	5.38%	43.06%	49.40%
2-(10)	0.86%	1.89%	8.44%	45.35%	43.46%
2-(11)	1.68%	4.87%	17.00%	53.70%	22.75%
2-(12)	1.79%	4.34%	15.25%	48.92%	29.70%
2-(13)	1.59%	3.45%	16.11%	51.11%	27.74%
2-(14)	1.16%	3.05%	11.24%	51.20%	33.36%

(3) 政経学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.75%	0.75%	5.61%	18.22%	74.67%
1-(2)	3.46%	4.93%	13.12%	40.78%	37.72%
1-(3)	51.91%	28.80%	14.61%	2.83%	1.85%
2-(1)	0.47%	0.73%	6.33%	49.69%	42.77%
2-(2)	0.32%	1.96%	46.96%	40.52%	10.25%
2-(3)	0.23%	2.72%	75.80%	17.62%	3.62%
2-(4)	1.77%	4.36%	13.54%	45.07%	35.26%
2-(5)	0.86%	2.16%	12.80%	47.29%	36.89%
2-(6)	5.61%	9.62%	28.43%	37.01%	19.32%
2-(7)	26.64%	19.07%	27.94%	20.02%	6.32%
2-(8)	0.80%	1.28%	9.48%	49.30%	39.14%
2-(9)	0.83%	1.65%	5.61%	43.30%	48.61%
2-(10)	1.53%	2.60%	9.47%	45.43%	40.98%
2-(11)	2.23%	5.37%	17.27%	55.20%	19.93%
2-(12)	2.63%	4.36%	16.18%	50.05%	26.78%
2-(13)	2.19%	3.40%	16.92%	51.56%	25.94%
2-(14)	1.73%	3.27%	12.66%	50.80%	31.54%

(4) 外国語学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.18%	0.54%	4.95%	17.00%	77.34%
1-(2)	2.04%	3.14%	10.43%	42.95%	41.45%
1-(3)	33.55%	31.56%	26.36%	5.84%	2.70%
2-(1)	0.56%	0.79%	6.25%	48.08%	44.33%
2-(2)	0.33%	3.31%	54.83%	35.33%	6.19%
2-(3)	0.46%	2.93%	79.89%	13.69%	3.03%
2-(4)	1.25%	3.52%	18.30%	38.31%	38.62%
2-(5)	0.92%	2.04%	18.91%	42.90%	35.23%
2-(6)	1.35%	2.32%	17.77%	38.36%	40.20%
2-(7)	24.96%	17.74%	24.85%	21.39%	11.06%
2-(8)	0.89%	1.45%	8.36%	44.46%	44.84%
2-(9)	0.69%	1.55%	6.70%	42.59%	48.46%
2-(10)	0.97%	1.50%	7.95%	45.86%	43.72%
2-(11)	1.27%	2.83%	10.73%	54.52%	30.64%
2-(12)	2.12%	2.75%	12.77%	47.44%	34.92%
2-(13)	2.24%	3.14%	17.46%	46.37%	30.79%
2-(14)	1.71%	2.75%	9.69%	48.02%	37.83%

(5) 工学部専門科目（講義科目）

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.10%	0.30%	3.14%	10.76%	85.70%
1-(2)	3.03%	5.90%	13.12%	36.18%	41.77%
1-(3)	39.24%	32.06%	21.34%	4.82%	2.53%
2-(1)	0.88%	1.11%	8.06%	56.20%	33.75%
2-(2)	0.40%	2.43%	42.55%	41.94%	12.68%
2-(3)	0.54%	2.49%	71.85%	20.03%	5.09%
2-(4)	2.49%	4.69%	34.73%	39.08%	19.02%
2-(5)	1.28%	2.90%	35.91%	40.76%	19.15%
2-(6)	3.07%	6.04%	41.60%	35.03%	14.26%
2-(7)	24.24%	19.82%	29.23%	19.15%	7.55%
2-(8)	1.65%	2.12%	16.82%	52.70%	26.70%
2-(9)	1.85%	2.23%	10.72%	48.01%	37.19%
2-(10)	2.02%	3.37%	11.97%	49.49%	33.14%
2-(11)	2.60%	7.99%	22.15%	52.39%	14.87%
2-(12)	3.24%	5.60%	20.40%	50.81%	19.96%
2-(13)	3.00%	5.43%	22.56%	50.00%	19.02%
2-(14)	2.90%	5.73%	16.62%	53.71%	21.04%

(6) 工学部専門科目（実験・実習科目）

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.09%	0.43%	2.39%	11.67%	85.43%
1-(2)	3.66%	5.96%	18.40%	47.61%	24.36%
1-(3)	0.85%	1.53%	9.37%	45.06%	43.19%
1-(4)	0.43%	2.64%	17.29%	41.23%	38.42%
2-(1)	0.68%	2.39%	38.84%	49.32%	8.77%
2-(2)	0.17%	2.47%	67.63%	24.70%	5.03%
2-(3)	1.87%	5.79%	17.97%	51.87%	22.49%
2-(4)	2.30%	5.20%	13.29%	50.94%	28.28%
2-(5)	1.28%	1.79%	12.52%	51.53%	32.88%
2-(6)	0.60%	1.11%	7.84%	48.04%	42.42%
2-(7)	1.11%	1.02%	6.30%	43.61%	47.96%
2-(8)	0.68%	1.87%	11.41%	48.47%	37.56%
2-(9)	0.60%	1.70%	10.99%	50.68%	36.03%
2-(10)	1.36%	3.92%	13.37%	61.16%	20.19%
2-(11)	0.60%	1.53%	9.97%	61.93%	25.98%
2-(12)	1.11%	2.21%	12.35%	51.02%	33.30%
2-(13)	1.36%	2.47%	14.22%	53.58%	28.36%
2-(14)	1.96%	2.13%	10.56%	54.09%	31.26%

(7) 国際学部専門科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.38%	0.57%	4.13%	15.57%	79.35%
1-(2)	0.89%	2.80%	7.75%	33.04%	55.53%
1-(3)	49.81%	28.78%	16.39%	2.80%	2.22%
2-(1)	0.25%	0.70%	5.46%	47.46%	46.12%
2-(2)	0.32%	1.46%	60.17%	32.72%	5.34%
2-(3)	0.19%	1.27%	83.55%	13.02%	1.97%
2-(4)	0.70%	3.24%	34.63%	35.32%	26.11%
2-(5)	0.38%	1.84%	33.80%	33.74%	30.24%
2-(6)	2.03%	3.56%	40.41%	31.32%	22.68%
2-(7)	28.91%	19.82%	26.24%	16.39%	8.64%
2-(8)	0.95%	1.59%	7.43%	44.66%	45.36%
2-(9)	1.02%	1.72%	6.67%	40.85%	49.75%
2-(10)	1.02%	2.80%	8.89%	42.38%	44.92%
2-(11)	1.46%	3.18%	12.26%	51.65%	31.45%
2-(12)	1.21%	2.99%	10.36%	44.09%	41.36%
2-(13)	1.02%	1.97%	11.12%	47.52%	38.37%
2-(14)	1.14%	2.60%	9.15%	46.00%	41.11%

(8) 教養科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.18%	0.27%	3.49%	12.85%	83.21%
1-(2)	3.93%	5.65%	13.68%	31.18%	45.55%
1-(3)	54.67%	27.43%	13.70%	2.44%	1.77%
2-(1)	0.47%	0.80%	6.59%	51.83%	40.30%
2-(2)	0.45%	3.06%	58.00%	30.98%	7.51%
2-(3)	0.20%	1.68%	83.19%	12.05%	2.88%
2-(4)	1.18%	2.88%	42.45%	30.51%	22.98%
2-(5)	0.92%	1.56%	42.69%	32.59%	22.24%
2-(6)	2.82%	4.05%	47.07%	28.88%	17.19%
2-(7)	30.13%	17.97%	27.22%	17.59%	7.09%
2-(8)	0.89%	1.43%	14.46%	49.80%	33.42%
2-(9)	0.89%	1.48%	11.58%	46.60%	39.45%
2-(10)	0.98%	2.12%	11.02%	46.04%	39.83%
2-(11)	1.54%	3.44%	14.08%	55.72%	25.21%
2-(12)	2.03%	3.55%	15.29%	49.51%	29.62%
2-(13)	1.90%	3.15%	16.29%	50.63%	28.03%
2-(14)	1.54%	2.12%	11.24%	51.92%	33.17%

(9) 外国語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.26%	0.60%	4.11%	14.18%	80.87%
1-(2)	1.88%	2.90%	10.35%	39.37%	45.49%
1-(3)	32.57%	33.11%	26.13%	5.26%	2.93%
2-(1)	0.60%	1.00%	7.69%	48.92%	41.80%
2-(2)	1.11%	4.64%	54.57%	32.18%	7.51%
2-(3)	0.74%	3.86%	78.56%	13.51%	3.33%
2-(4)	1.38%	3.72%	22.29%	39.66%	32.94%
2-(5)	0.89%	1.59%	21.02%	43.62%	32.88%
2-(6)	1.04%	1.87%	20.71%	37.94%	38.44%
2-(7)	22.21%	17.10%	27.94%	22.93%	9.82%
2-(8)	0.89%	1.38%	11.05%	46.04%	40.63%
2-(9)	0.79%	1.72%	8.21%	42.40%	46.88%
2-(10)	0.86%	1.48%	9.12%	46.99%	41.55%
2-(11)	1.58%	3.80%	13.75%	53.66%	27.21%
2-(12)	2.43%	3.88%	16.48%	47.38%	29.83%
2-(13)	2.79%	5.21%	20.88%	46.02%	25.10%
2-(14)	1.58%	2.84%	11.32%	49.36%	34.90%

(10) スポーツ・トレーニング科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0	1.45%	3.86%	12.56%	82.13%
1-(2)	0	0.48%	3.86%	33.82%	61.84%
1-(3)	0.48%	0	3.38%	30.43%	65.70%
2-(1)	0	0.48%	3.86%	36.23%	59.42%
2-(2)	0	0.48%	3.86%	22.22%	73.43%
2-(3)	0	0	5.31%	32.85%	61.84%
2-(4)	0	0.97%	4.83%	31.88%	62.32%
2-(5)	0.48%	0	3.38%	27.05%	69.08%
2-(6)	0	0	4.83%	23.19%	71.98%
2-(7)	0	0.97%	1.93%	28.50%	68.60%
2-(8)	0.48%	1.93%	3.86%	19.81%	73.91%
2-(9)	0.48%	0.97%	5.31%	15.46%	77.78%
2-(10)	0	0	2.42%	23.67%	73.91%
2-(11)	0	0	4.83%	22.71%	72.46%
2-(12)	0	0.48%	2.90%	28.02%	68.60%
2-(13)	0	0	4.83%	33.82%	61.35%
2-(14)	0	0	3.38%	30.43%	66.18%
2-(15)	0	0.48%	2.42%	28.02%	69.08%
3-(1)	0	0.48%	1.93%	29.95%	67.63%
3-(2)	0.48%	0.48%	6.28%	27.05%	65.70%
3-(3)	1.93%	1.45%	15.46%	23.67%	57.49%

(11) 教職・社教・日語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0	0	3.77%	16.14%	80.09%
1-(2)	2.71%	2.71%	9.50%	40.12%	44.95%
1-(3)	48.57%	29.86%	15.84%	3.17%	2.56%
2-(1)	0.90%	0.45%	5.28%	47.51%	45.85%
2-(2)	0	1.06%	58.22%	36.35%	4.37%
2-(3)	0	1.36%	79.49%	15.84%	3.32%
2-(4)	1.66%	2.87%	17.19%	38.46%	39.82%
2-(5)	0.90%	1.96%	17.35%	43.14%	36.65%
2-(6)	1.81%	2.71%	17.65%	36.50%	41.33%
2-(7)	28.66%	15.54%	26.55%	21.42%	7.84%
2-(8)	0.90%	1.06%	6.94%	42.23%	48.87%
2-(9)	1.36%	0.75%	7.69%	40.27%	49.92%
2-(10)	1.21%	1.51%	5.13%	42.68%	49.47%
2-(11)	1.36%	2.56%	10.11%	55.66%	30.32%
2-(12)	1.66%	2.56%	9.05%	48.11%	38.61%
2-(13)	1.51%	2.11%	8.90%	48.27%	39.22%
2-(14)	1.81%	1.66%	6.33%	48.72%	41.48%

(12) ゼミ・外書講読

設問／回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.43%	0.83%	4.00%	16.11%	78.62%
1-(2)	3.71%	5.37%	15.83%	41.02%	34.07%
1-(3)	32.55%	23.58%	24.77%	8.87%	10.24%
2-(1)	0.29%	0.72%	7.25%	39.65%	52.09%
2-(2)	0.94%	1.77%	63.66%	29.70%	3.93%
2-(3)	0.14%	3.03%	89.11%	6.63%	1.08%
2-(4)	0.29%	1.05%	9.12%	34.75%	54.79%
2-(5)	0.29%	0.90%	8.44%	37.78%	52.60%
2-(6)	0.36%	0.68%	8.07%	30.86%	60.02%
2-(7)	9.70%	12.69%	25.31%	33.13%	19.18%
2-(8)	0.14%	0.50%	3.17%	33.20%	62.98%
2-(9)	0.58%	1.48%	6.42%	34.64%	56.89%
2-(10)	0.32%	0.79%	8.26%	39.19%	51.44%
2-(11)	0.14%	0.54%	5.91%	48.59%	44.81%
2-(12)	0.25%	0.72%	5.01%	39.29%	54.72%
2-(13)	0.40%	0.54%	5.30%	37.31%	56.45%
2-(14)	0.25%	0.72%	3.14%	32.30%	63.59%

(13) 全体 (講義科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
1-(1)	0.32%	0.53%	4.41%	15.50%	79.24%
1-(2)	2.87%	4.37%	12.02%	38.91%	41.84%
1-(3)	43.66%	29.53%	19.60%	4.24%	2.96%
2-(1)	0.51%	0.87%	6.82%	49.26%	42.54%
2-(2)	0.57%	2.81%	52.71%	35.87%	8.04%
2-(3)	0.41%	2.95%	78.71%	14.64%	3.29%
2-(4)	1.38%	3.57%	21.65%	39.44%	33.96%
2-(5)	0.83%	1.82%	21.17%	42.34%	33.85%
2-(6)	2.91%	4.99%	27.27%	35.78%	29.05%
2-(7)	24.67%	17.80%	27.13%	21.24%	9.16%
2-(8)	0.83%	1.39%	10.10%	46.91%	40.78%
2-(9)	0.88%	1.61%	7.53%	42.95%	47.02%
2-(10)	1.07%	1.97%	9.27%	45.59%	42.10%
2-(11)	1.63%	4.13%	14.56%	53.74%	25.93%
2-(12)	2.11%	3.72%	14.80%	47.92%	31.45%
2-(13)	2.07%	3.63%	16.92%	48.14%	29.24%
2-(14)	1.55%	2.89%	11.00%	49.04%	35.53%

6. 学部設問項目 平均値・標準偏差

(1) 商学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) あなたはこの授業へのあなた自身の取り組みを振り返って満足していますか。	専任教員	124	3.97	0.84
	講師（非常勤）	79	3.97	0.82
計		203	3.97	0.83

(2) 政経学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) この授業の満足度として、あなたが考える一番大きなものは何ですか。	専任教員	114	3.66	1.33
	講師（非常勤）	70	3.60	1.32
計		184	3.64	1.33
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) この授業を習得するために、あなたが取り組むべきことは何ですか。	専任教員	114	2.94	1.34
	講師（非常勤）	70	2.98	1.28
計		184	2.95	1.33
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(3) あなたが望む先生への質問方法は何ですか。	専任教員	114	3.07	1.11
	講師（非常勤）	70	3.21	1.17
計		184	3.10	1.13
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(4) 留学生だけに質問します。留学生からみて、この授業に必要なことは何ですか。	専任教員	114	3.09	1.20
	講師（非常勤）	70	3.24	1.23
計		184	3.13	1.21

(3) 外国語学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか。（※対面授業の履修者のみ回答してください）	専任教員	105	4.22	0.78
	講師（非常勤）	188	4.29	0.77
計		293	4.26	0.78
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) このクラスの学生数は適切ですか。（※対面授業の履修者のみ回答してください）	専任教員	105	4.22	0.76
	講師（非常勤）	188	4.30	0.76
計		293	4.27	0.76

(4) 工学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) この授業の到達目標をよく理解していますか。	専任教員	86	3.74	0.87
	講師（非常勤）	29	3.71	0.87
計		115	3.73	0.87
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) 宿題や課題に前向きな気持ちで取り組んでいますか。	専任教員	86	3.88	0.91
	講師（非常勤）	29	3.77	0.97
計		115	3.85	0.92
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(3) この授業の内容について、先生や友人とよく話しますか。	専任教員	86	3.41	1.12
	講師（非常勤）	29	3.26	1.15
計		115	3.38	1.13
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(4) この授業は、対面とオンデマンドのどちらの形式に適していると思いますか	専任教員	86	2.74	1.48
	講師（非常勤）	29	2.87	1.46
計		115	2.77	1.47

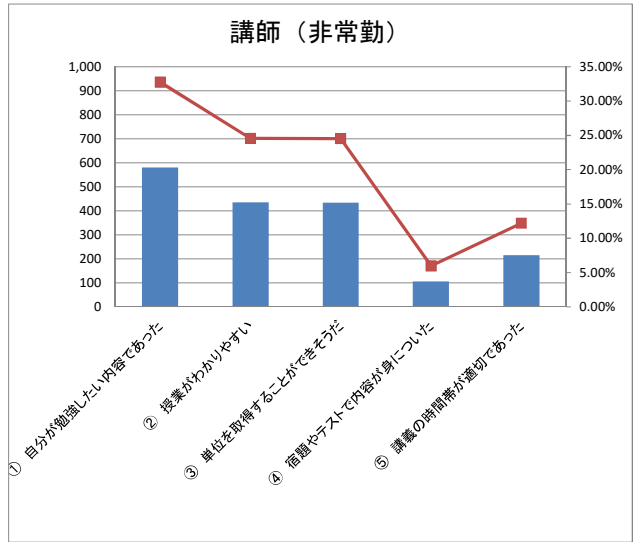
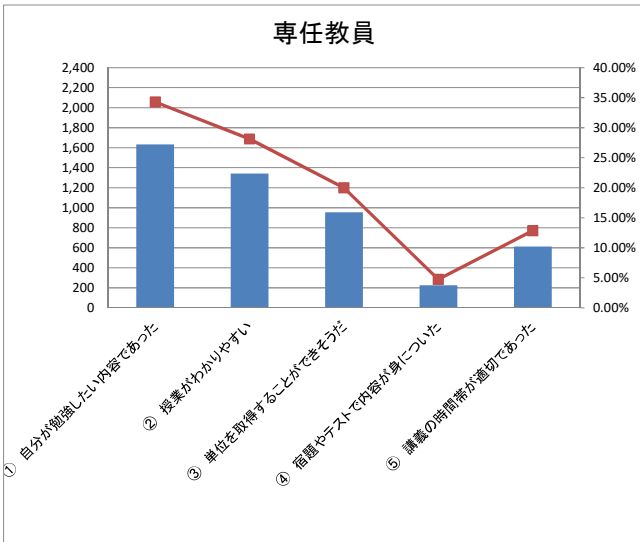
(5) 国際学部

設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(1) 授業の開始時間、終了時間は守られている。 （※対面授業の履修者のみ回答してください）	専任教員	54	4.37	0.75
	講師（非常勤）	14	4.27	0.83
計		68	4.35	0.77
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(2) 出欠はきちんととられている。	専任教員	54	4.13	1.07
	講師（非常勤）	14	4.04	1.12
計		68	4.11	1.08
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(3) 授業中、学生同士の私語はない。（※対面授業の履修者のみ回答してください）	専任教員	54	4.20	0.89
	講師（非常勤）	14	4.13	0.96
計		68	4.18	0.91
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(4) この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか。（※対面授業の履修者のみ回答してください）	専任教員	54	4.26	0.83
	講師（非常勤）	14	4.25	0.86
計		68	4.26	0.84
設問項目	教員別	科目数	平均値	標準偏差
3-(5) 学生がいきいきと学べる環境づくりに教員が努めている。（※対面授業の履修者のみ回答してください）	専任教員	54	4.26	0.81
	講師（非常勤）	14	4.02	0.92
計		68	4.21	0.85

7. 政経学部 学部別設問項目 教員別回答別表・グラフ

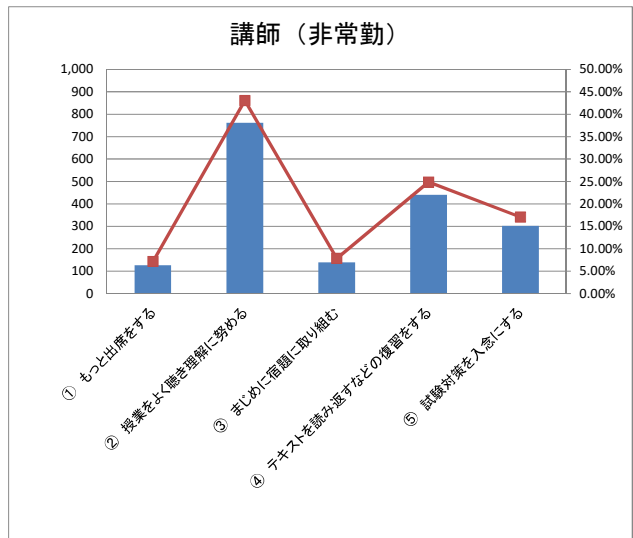
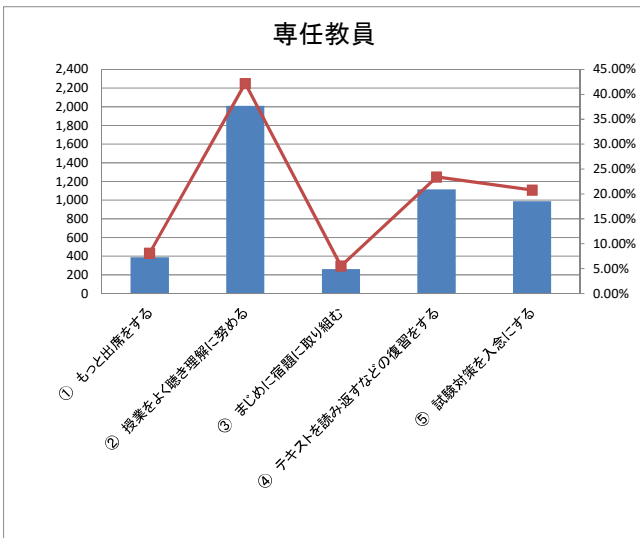
3-(1) この授業の満足度として、あなたが考える一番大きなものは何ですか。

		① 自分が勉強したい内容であった	② 授業がわかりやすい	③ 単位を取得することができそう	④ 宿題やテストで内容が身についた	⑤ 講義の時間帯が適切であった
専任教員	回答	1,634	1,341	954	226	612
	割合	34.28%	28.13%	20.01%	4.74%	12.84%
講師（非常勤）	回答	580	435	434	106	216
	割合	32.75%	24.56%	24.51%	5.99%	12.20%
計	回答	2,214	1,776	1,388	332	828
	割合	33.86%	27.16%	21.23%	5.08%	12.66%



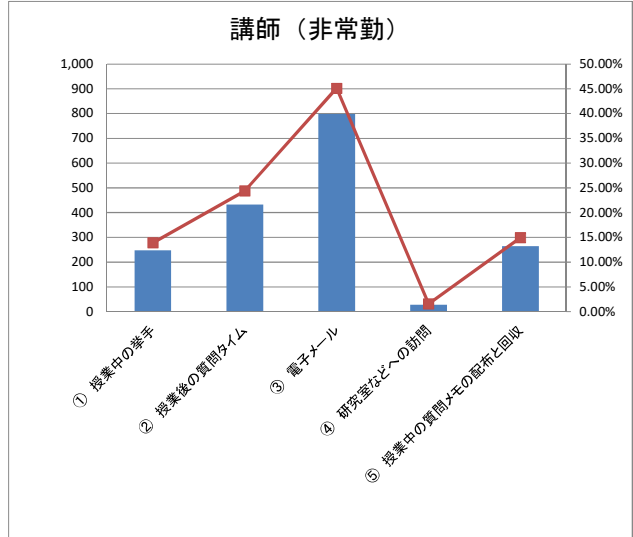
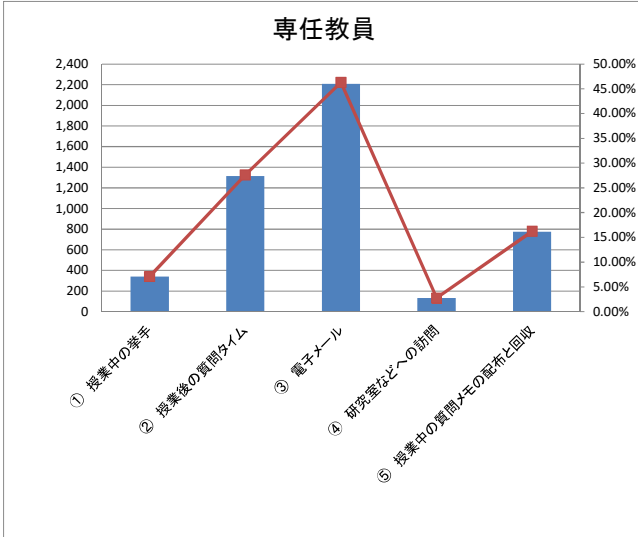
3-(2) この授業を習得するために、あなたが取り組むべきことは何ですか。

		① もっと出席をする	② 授業をよく聴き理解に努める	③ まじめに宿題に取り組む	④ テキストを読み返すなどの復習をする	⑤ 試験対策を入念にする
専任教員	回答	387	2,011	264	1,116	989
	割合	8.12%	42.19%	5.54%	23.41%	20.75%
講師（非常勤）	回答	127	762	139	441	302
	割合	7.17%	43.03%	7.85%	24.90%	17.05%
計	回答	514	2,773	403	1,557	1,291
	割合	7.86%	42.41%	6.16%	23.81%	19.75%



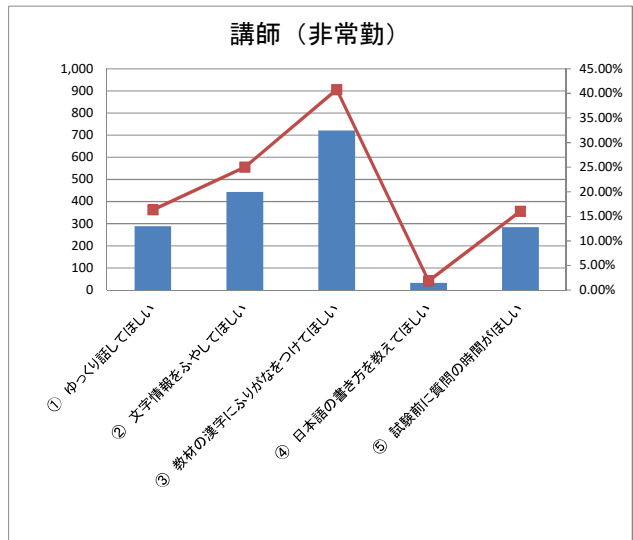
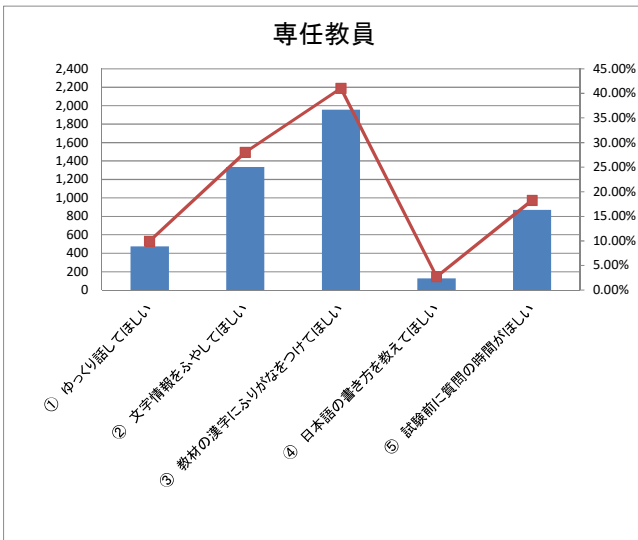
3-(3) あなたが望む先生への質問方法は何ですか。

		① 授業中の挙手	② 授業後の質問タイム	③ 電子メール	④ 研究室などへの訪問	⑤ 授業中の質問メモの配布と回収
専任教員	回答	338	1,316	2,207	132	774
	割合	7.09%	27.61%	46.30%	2.77%	16.24%
講師（非常勤）	回答	247	432	799	28	265
	割合	13.95%	24.39%	45.12%	1.58%	14.96%
計	回答	585	1,748	3,006	160	1,039
	割合	8.95%	26.74%	45.98%	2.45%	15.89%



3-(4) 留学生だけに質問します。留学生からみて、この授業に必要なことは何ですか。

		① ゆっくり話してほしい	② 文字情報をふやしてほしい	③ 教材の漢字にふりがなをつけてほしい	④ 日本語の書き方を教えてほしい	⑤ 試験前に質問の時間がほしい
専任教員	回答	475	1,336	1,956	129	871
	割合	9.96%	28.03%	41.03%	2.71%	18.27%
講師（非常勤）	回答	289	443	722	33	284
	割合	16.32%	25.01%	40.77%	1.86%	16.04%
計	回答	764	1,779	2,678	162	1,155
	割合	11.69%	27.21%	40.96%	2.48%	17.67%



IV 評価及び課題

1. 商学部

(1) 実施状況

令和3年度「授業改善のための学生アンケート」は、2021年12月6日～11日（予備日：12月13日～18日）に行われ、商学部における実施対象は、専任教員48名、講師（非常勤）98名であった。専任教員、講師（非常勤）それぞれの実施率は、専任教員が100.00%、講師（非常勤）が77.55%であった。

実施科目数は、専任教員が259科目、講師（非常勤）は259科目である。学科目別実施科目数は、商学部初期教育科目（24科目）、商学部専門科目（167科目）、ゼミナール・外書講読（108科目）、外国語科目（172科目）、教養教育科目（25科目）、教職・社教・日本語講座科目（13科目）のほか、他学部専門科目等が9科目で合計518科目であった。

なお、今年度の「授業改善のための学生アンケート」は、講座科目（オムニバス）・集中講義等を除く、通年科目および後期科目（オンデマンド型授業を含む）を対象としている。

アンケート回答数（延べ人数）は、1年生3,812人、2年生3,034人、3年生2,525人、4年生808人、その他7人で、合計10,186人である。回答数は1年生が最も多く、学年が上がるにしたがって回答数が減り、4年生の回答数が最も少ない。

以降では、商学部初期教育科目および専門科目に関する回答について考察する。

(2) 初期教育科目に関する集計結果

初期教育科目は、今年度はじめて実施対象となったため、過去5年間との比較はできない。よって、令和3年度の回答のみでの評価となる。

回答平均値が4.00を超えた設問項目に注目すると、1-(1)「学生の出席状況」、2-(1)「狙いの明確さ」、2-(4)「声の大きさ」、2-(5)「環境の配慮」、2-(8)「教員の意欲・熱意」、2-(9)「時間の厳守」、2-(10)「教材等の効果」、2-(11)「理解しやすさ」、2-(14)「満足度」があげられる。とりわけ、1-(1)「学生の出席状況」は4.76であることから出席率が95%を超え、高い出席率であった。また、2-(1)「狙いの明確さ」、2-(4)「声の大きさ」、2-(5)「環境の配慮」、2-(8)「教員の意欲・熱意」、2-(9)「時間の厳守」、2-(10)「教材等の効果」などが高い値を示している。こうした高数値の背景には、授業を行う教員の教育的資質および実践力の高さが影響していると推測され、それが2-(14)「満足度」の高さへとつながっていると思われる。

一方で、設問項目1-(2)「ノート・メモをとっているか」、1-(3)「予習・復習をしているか」、2-(7)「授業時間以外に先生に質問に行くことがあるか（オフィスアワー等の活用）」では、回答平均値が1.60～3.15と低迷し、「予習・復習をしているか」は1.60と非常に低いことから、学生が受講にあたって十分な予習・復習をしていないことが浮き彫りとなった。予習・復習不足の改善については、設問項目2-(12)「興味関心」や、2-(13)「見方・考え方が深まる」の回答平均値がそれぞれ3.94、3.86とほぼ4.00に近い高い値を

示していることから、学生の学びに対する興味・関心・意欲はそれなりに高いと推測されるため、その興味・関心・意欲にもとづく自主的な学びとしての予習・復習にどうつなげていくことができるかが教員に課せられた今後の課題といえる。

また、学生にとって適切な学修難易度・進度であったかについては、設問項目 2- (2) 「難易度」の回答平均値が 3.42、2- (3) 「進度」の回答平均値が 3.29 であることから、難易度・進度ともに概ね適切であったと評価できる。

(3) 専門科目に関する集計結果

専門科目の集計結果について、過去 5 年間との比較が可能な 13 の設問項目に注目すると、いずれも過去 5 年間とほぼ同じ傾向を示しているが、うち 12 の設問項目において今年度は過去 5 年間で最も高い回答平均値となっている。具体的には、「学生の出席状況」(4.71)、「ノート・メモをとった」(4.14)、「狙いの明確さ」(4.33)、「声の大きさ」(4.15)、「環境の配慮」(4.22)、「教材等の効果」(4.29)、「理解しやすさ」(3.91)、「見方・考え方が深まる」(4.00)、「満足度」(4.13) などである。

また、令和 3 年度から設定（または変更）された設問項目である「学生の授業参加を促したか（質問・発言）」、「教員の意欲・熱意」、「時間の厳守」、「興味関心」では、いずれも高い値を示し、「教員の意欲・熱意」、「時間の厳守」、「興味関心」は回答平均値が 4.00 を超えている。

ただし、課題もある。それは、設問項目 2- (7) 「授業時間以外に先生に質問に行くことがあるか（オフィスアワー等の活用）」において、今年度は過去 4 年と比べ回答平均値が 1.0 も上昇し 2.61 を示しているものの、他の設問項目の回答平均値に比べ低い値にとどまっていることである。先に述べた初期教育科目同様に、専門科目においても設問項目 2- (12) 「興味関心」や、2- (13) 「見方・考え方が深まる」の回答平均値がともに 4.00 と高い値を示していることから、学生の学びに対する興味・関心・意欲はそれなりに高いと推測される。したがって、その興味・関心・意欲にもとづく自主的な学びとしての予習・復習にどうつなげることができるかが、教員に課せられた今後の課題だろう。

学生にとって適切な学修難易度・進度であったかについては、設問項目 2- (2) 「難易度」の回答平均値が 3.56、2- (3) 「進度」の回答平均値が 3.19 であることから、難易度・進度ともに概ね適切であったと評価できる。

その他注目すべき点として、既述したようにほとんどの設問項目において、今年度は過去 5 年のなかで最も高い回答平均値を示していることがあげられる。今年度は令和 2 年度から続く新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大の影響でオンライン授業の期間が長かったにもかかわらず、コロナ禍以前と同等以上の数値を確保できたのは、オンライン授業が 2 年目に入り、各教員のオンライン授業に対するスキルが向上したことが考えられる。さらには、令和 2 年度の商学部 FD ワークショップにおいて、オンライン授業における効果的な授業運営にむけたツールやスキルの紹介、オンライン授業における困りごと等の集約

と解答・ヒントの提示を行ったことも功を奏したと思われる。

(4) 学部設問項目に関する集計結果

商学部では、学部独自の設問項目として「あなたはこの授業へのあなた自身の取り組みを振り返って満足していますか」を設定した。この設問については、専任教員の124科目、講師(非常勤)の79科目において実施され、回答平均値は専任教員3.97、講師(非常勤)3.97であった。これらの結果から、学生は自身の学修に概ね満足していると思われるが、既述したように「予習・復習」が現状では十分ではないため、その点を学生が自覚し、自ら予習・復習を充実させるような方策について検討することが今後の課題と思われる。

※ 数値の詳細については、「全体集計」の該当箇所を参照のこと。

以上

2. 政経学部

(1) 実施状況—589科目について調査を実施

令和3年度「授業改善のための学生アンケート」は、令和3年12月6日から12月11日までの授業時間中に実施した。QRコードを学生に提示し、Web上にて回答を回収した。政経学部には所属する専任教員52名および講師（非常勤）104名に協力依頼をし、専任教員の全員からご協力を得た。講師（非常勤）からは85人からご協力を得た。対象科目は通年科目及び後期科目（オンデマンド型授業を含む）であり、専任教員が担当するもの297科目（1教員あたり平均5.7科目）、講師が担当するもの292科目（同3.4科目）であった。137名の教員から589科目に関する結果を得た。上記科目には外国語、教職ほかも含まれる。

アンケートの回答者数は、のべ人数ベースで1年生3,971名、2年生4,104名、3年生2,961名、4年生1,016名の合計12,054名（学年不明者2名を含む）である。1-3年生が多く4年生が少ない。前回実施年よりも4年生以外で回答者が増えている。1科目あたりの回答数は20.5名（=12,054名÷589科目）である。なお、本調査は、後期に実施している。

(2) アンケート項目

アンケート項目は、全部で21問を設問した。はじめに学生の受講姿勢の自己評価について問い、続いて授業の進め方や内容に関して評価をさせ、総合的な満足度を問うた。最後に学部独自設問として、4問を追加している。

(3) 専門科目に関する集計結果—受講姿勢に関する自己評価

以下では、政経学部における設置科目のうち専門科目に関する回答を見ていく。設問1-1では、出席状況について問うた。回答平均は4.65でありこれは出席率が90%弱であることを意味する。標準偏差は0.69なので回答者の出席状況は総じて高いと判断される。設問1-2では、ノートへの筆記の有無を設問した。回答平均は4.04であり、多くの学生は教員による口頭の説明や板書をノートに筆記している。設問1-3では、予習や復習に充てる時間について尋ねた。全体平均は1.74であり、これから逆算すると、1講義あたりの予習復習は30分程度であり少ない。

(4) 専門科目に関する集計結果—授業の内容や進め方に関する評価

設問2-1から設問2-14では、授業の各側面について学生から評価を得た。回答平均は4.0前後なので「そう思う」と考える学生が多かったことが見てとれる。なお、2-(2)と2-(3)は3の回答が適切である項目であったが、回答平均は3に近い値となっていた。担当講師のタイプ（専任教員／講師）、専門科目のタイプ（法律政治／経済）の差異はほとんど無く、学生からの評価は同じである。設問別にみても差異は少ないが、良いものとしては、「講義要項に沿った授業か」「授業の進度」「教員の授業への意欲・熱意」「授業の開始・終了時間の適切性」があり、やや不足するものには「授業への参加の促進」「授業時間以外

での教員への質問」がある。講義の内容や実施方法、教員の熱意は評価しているが、授業参加への促進や授業時間外での質問の傾向はやや低い。

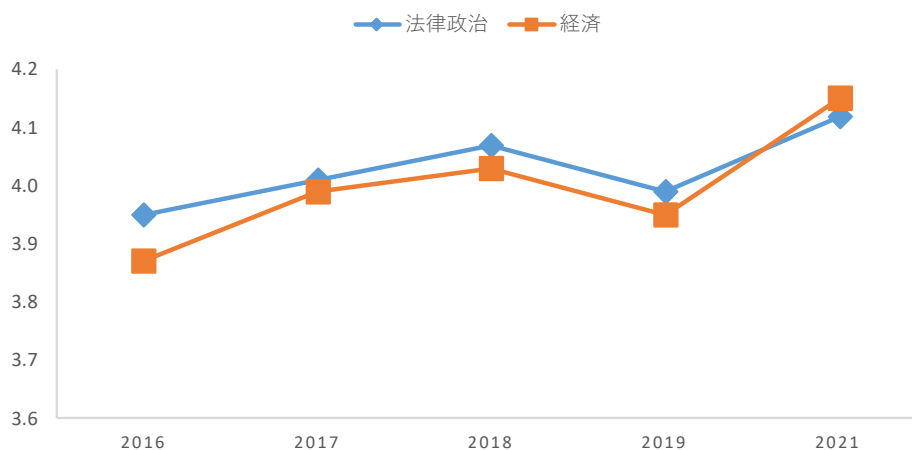
設問 2-11 では「この授業の内容はよく理解できましたか」と質問した。ポイントが 4 以上である場合、当該科目において「強く思う」「そう思う」という回答が多かったことを意味するが、このような科目が総科目数に占める割合は 75.13%と非常に高い。続いて当該科目のポイントが 3 以上 4 未満であることは「どちらとも言えない」とする回答は 17.27%と比較的少なかった。これらの結果から、授業内容の理解度は高いと言える。

設問 2-14 では「総合的にこの授業に満足していますか」と満足度を尋ねた。この質問に対して「強く思う」「そう思う」と回答した割合は 82.34%であり、非常に高くなっていた。この結果から、令和 3 年度において、政経学部では満足度の高い授業を行うことができたと考えられる。

(5) 満足度の経年変化

本年度（2021 年）のアンケート結果を過去値と比較する。満足度（設問 2-14）については、過去 5 年間に於いて 3.9~4.2 という平均値で推移しており、ほぼ一定している。本年値は法律政治学科で 4.1、そして、経済学科で 4.2 と昨年度よりもわずかに上昇していた。

学科別の授業満足度の推移



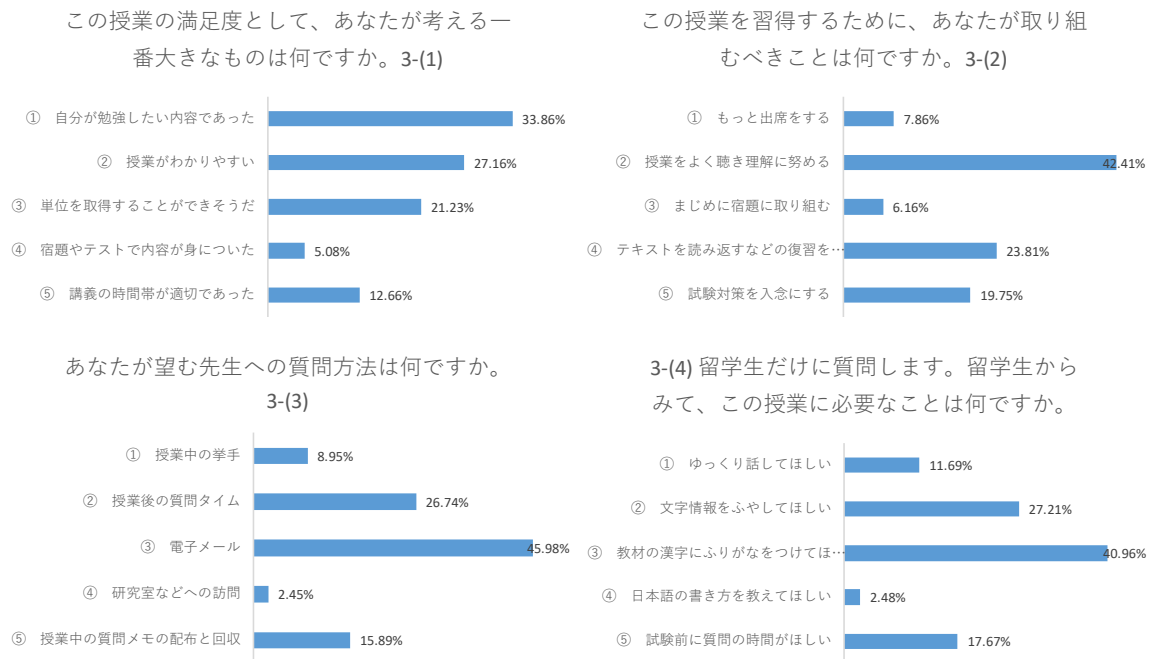
注：専門科目に関する集計結果。

資料：平成 28 年度-令和 3 年度「授業改善のための学生アンケート」結果をもとに作成。

(6) 政経学部による独自設問における回答結果

設問 3-1 では、授業の満足度について具体的に尋ねた。「自分が勉強したい内容であった」33.86%、「授業がわかりやすい」27.16%、「単位を取得することができそうだ」21.23%が上位にあった。設問 3-2 では、学生自身が取り組むべきことについて尋ねた。「授業をよく聴き理解に努める」42.21%、「テキストを読み返すなどの復習をする」23.81%「試験対策を入念にする」19.75%が多い。設問 3-3 では、希望する教員への質問方法について尋

ねた。「電子メール」45.98%、「授業後の質問タイム」26.74%が多かった。設問3-4は、留学生だけに質問した。「教材の漢字にふりがなをつけてほしい」40.96%、「文字情報をふやしてほしい」27.21%の割合が多い。非漢字圏の留学生も増加しているため、漢字の使用の際には配慮が必要となる可能性がある。



注：科目ごとに回答率を算出し、それらの総平均から全体傾向（専門科目のみ）を求めている。
資料：令和3年度「授業改善のための学生アンケート」結果をもとに作成

(7) 今後の課題

本年度アンケートの結果から、政経学部の授業は受講生から概ね満足度の高い内容になっていると言える。教員各位のご尽力の賜物であると深く感謝する次第である。一方、アンケート結果から、予習・復習時間の不足や授業への参加促進の不足、留学生向けの授業方法について課題があることがわかった。中でも政経学部では留学生の数が多いため、授業方法のさらなる改善は今後の重要な検討事項だと言える。これらの諸問題がよく理解され、今後の授業改善に結びつけられることが期待される。

以上

3. 外国語学部

(1) 実施状況

実施率：専任教員 100% 講師(非常勤) 87.30%。

(2) 集計結果とその分析

①学科目別(講義等科目) 平均値・標準偏差 大学全体の集計結果との比較

「外国語学部専門科目」

I-1 「学生の出席状況」の平均値 4.71

(大学全体の平均値 4.73) ↓ (昨年度 4.78) ↓

I-2 「ノート・メモ」の平均値 4.19

(大学全体の平均値 4.12) ↑ (昨年度 4.21) ↓

I-3 「予習・復習」の平均値 2.13

(大学全体の平均値 1.93) ↑↑ (昨年度 1.91) ↑

*外国語の習得に必要な時間数としては十分とはいえない。

II-1 「ねらいの明確さ」 4.35 (大学全体の平均値 4.32) ↑ (昨年度 4.32) ↑

II-4 「声の聞き取りやすさ」 4.10 (大学全体の平均値 4.01) ↑ (昨年度 3.67) ↑

*昨年度はオンラインで声が聞きとりにくいケースが多かったかもしれない。

II-5 「環境の配慮」 4.09 (大学全体の平均値 4.07) ↑ (昨年度 3.7) ↑

*これも昨年度はオンラインだったことが関係しているかもしれない。

II-6 「質問・発言」 4.14 (大学全体の平均値 3.83) ↑↑ (昨年度 3.5) ↑↑

*外国語学部の教員全体が授業中にインタラク션을促す姿がうかがえる。

*これも昨年度はオンラインだったことが関係しているかもしれない。

II-7 「オフィスアワー」 2.76 (大学全体の平均値 2.72) ↑ (昨年度 2.54) ↑

*昨年度オフィスアワーがどのくらい活用されていたのかが疑問である。

II-8 「意欲・熱意」 4.31 (大学全体の平均値 4.25) ↑ (昨年度 4.0) ↑

II-9 「時間の厳守」 4.37 (大学全体の平均値 4.34) ↑ (昨年度 4.12) ↑

*昨年度はオンラインで授業が短めに終わったことを反映しているかもしれない。

II-10 「教材等の効果」 4.30 (大学全体の平均値 4.26) ↑ (昨年度 4.18) ↑

II-11 「理解しやすさ」 4.10 (大学平均の 3.98) ↑ (昨年度 3.93) ↑

*全体として効果的な言語のインプットがなされていることがわかる。

昨年度からもアップしている。

対面授業のメリットを反映していると思われる。

II-12 「興味・関心」 4.10 (大学全体の平均値 4.03) ↑ (昨年度 3.94) ↑

*昨年度からの大幅アップで、学生の対面授業志向がうかがわれる。

II-13「見方・考え方が深まる」 4.00

(大学全体の平均値 3.99) ↑ (昨年度 3.89) ↑

*ここも昨年度よりアップしている。

II-14「満足度」 4.18 (大学全体の平均の 4.14) ↑ (4.06) ↑

@評価が3になる回答が好ましい科目

II-2「難易度」 3.44 (大学全体の平均値 3.48) ↑

II-4「進度」 3.16 (大学全体の平均値 3.17) ↑

以上の集計結果により、昨年度実施データ、今年度全学平均値を上回っている項目がほとんどで、満足できる結果となっている。来年度から105分授業導入という大きな変化が起きるが、教員も諸々の工夫を施し、学生の満足度を更に高めたい。

②教員所属別評価 専任教員（教授、准教授、助教、特別非常勤講師）と講師（非常勤）に対する評価

外国語学部の専任教員に対する評価はすべての項目において、大学の平均より上回っており、概ね高い評価を得ていることがわかる。

講師（非常勤）の授業への評価は専任教員の授業への評価よりも低い位置にあるが、「質問・発言」、「意欲・熱意」、「理解しやすさ」など、外国語教員にとって大事と思われる項目においては、大学全体の平均値を上回っている。今後も、専任教員と講師（非常勤）は連携を密にしながら、より効果的な外国語教育ができるよう、さらに努力を重ねていかなければならないだろう。

③学科別評価（講義科目） 学科別の分析

改善を示唆していると思われる点のみ以下に挙げる。講義科目であるので、オンデマンド授業への評価も含まれている。

I-1「学生の出席状況」 学科別の平均値では、英米語、国際日本語は全体の平均 4.73 を上回るが、中国語とスペイン語は全体の平均よりやや下回っている。

I-2「ノート・メモ」 学科別の平均値は、英米語 4.05 のみが、全学平均 4.12 を下回っている。

I-3「予習・復習」 学科別の平均値は、英米語 2.04、中国語 1.91、スペイン語 2.16、国際日本語 2.19 で、ほぼ全体の平均 1.93 より上回るが、中国語学科 1.91 は、やや全学平均 1.93 を下回る。

II-7「オフィスアワー」 英米語 2.43 中国語 2.89 スペイン語 2.99 国際日本語 3.03 で全体の 2.72 よりほぼ上回っているが、英米語 2.43 は、全学平均 2.72 を下回っている。

④外国語学部専門科目に対する回答の分析

I-1「学生の出席状況」⑤が 77.34%と最も多く、次いで④の 17.00%となっている。

I-2「ノート・メモ」④が 42.95%と最も多く、次いで⑤の 41.45%となっている。

I-3「予習・復習」①が 33.55%と最も多く、次いで②の 31.56%となっており、④は 5.84%、⑤は 2.70%と値が低い。予習・復習をしないで授業に臨む学生が多いことがわかる。

II-1「講義要項」④が 48.08%で、⑤の 44.33%とほぼ同じ数値を示している。

II-2「難易度」3 に近いほど良い値だと言われている項目であるが、③が 54.83%、次いで④が 35.33%となっている。

II-3「進度」同様の基準となっているが、③が最も高く 79.89%、次いで④が 13.69%となっている。

II-4「声の聞き取りやすさ」⑤が 38.62%で、次いで④が 38.31%とほぼ同じ数字になっている。

II-5「環境への配慮」④が 42.90%で、⑤が 35.23%となっている。

II-6「質問・発言」⑤が最も高く 40.20%、次いで④が 38.36%だった。

II-7「オフィスアワー」①が最も高く、24.96%、次いで③が 24.85%で教員を訪れる学生には開きがあることがわかる。

II-8「意欲・熱意」⑤が最も高く 44.84%で、④が 44.46%だった。

II-9「時間の厳守」⑤が最も高く 48.46%、④が次いで 42.59%だった。次からの項目は④の数値が⑤を上回っている。

II-10「教材の効果」④が 45.86%で、次いで⑤が 43.72%である。

II-11「理解しやすさ」④が最も高く 54.52%、次いで⑤が 30.64%である。

II-12「興味関心」④が 47.44%、⑤が 34.92%となっている。

II-13「見方考え方」④が 46.37%、次いで⑤が 30.79%だった。

II-14「満足度」④が 48.02%で⑤が 37.83%となっている。

⑤学部設問項目

昨年度同様、今回のアンケートに外国語学部が独自に入れた設問項目は、次の 2 つである。

IV-1「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか」

回答の平均値は、専任教員の授業では 4.22、講師（非常勤）の授業では 4.29 の値であった。

IV-2「このクラスの学生数は適切ですか」

回答の平均値は、専任教員の授業では 4.22、講師（非常勤）の授業では 4.30 であった。

それぞれ、前年とほぼ同じ値で、概ね良好な結果と言えよう。

以上の 2 項目は、少人数教育を中心とした外国語の授業で効果的に授業が行われる環境が整っているかどうかをチェックする重要な設問であるが、今年度も学生側からは満足できる評価が得られていると考えられる。

(3) 授業改善に向けての今後の課題

以上、「授業改善のための学生アンケート」の集計結果を分析してきたが、今年度も外国語学部の数値は全般にわたって比較的安定した高い水準を維持していると言える。特に「ノート・メモ」「予習・復習」「声の聞き取りやすさ」「質問・発言」「意欲・熱意」「教材等の効果」「理解しやすさ」「興味・関心」など、外国語教授法の基本となる部分について、教員たちが工夫を重ね、それぞれの授業の中で実践し続けていることが、学生たちから良い評価を受けることにつながっていると思われる。少人数の授業が比較的多い外国語学部の授業では、出席率も高く、教室内の良い雰囲気が保たれている。

今後は、授業時間内だけでなく、休み時間を利用して研究室に足を運ぶ学生が増えていくことが望ましい。また「見方・考え方が深まる」比率を上げていくためにも、引き続き学生の主体的な学びを促すことが今後の課題となるだろう。全体的には、令和元年度に比してほぼ全ての項目において、数値は上昇傾向にある。コロナ禍の 2 年間はオンライン授業や、オンデマンド授業が実施される中でも、柔軟に対応してきた結果と言えるだろう。また、このような傾向が現れる要因をさらに分析すると共に、客観的、全体的視野でカリキュラムを再構築することが今後求められるであろう。またそのためのニーズ分析を行う必要がある。

外国語学部の課題はこれまでと同様に、様々な背景を持つ学生や学力差にどのように対応し、効果的な授業を行うかである。2021 年度入試の結果を受けて、各学科とも、これまで以上に多様な学力の学生を受け入れることになる。能力別のクラス編成によって、より学習効果が上がる体制は三学科とも一応整っているが、105 分授業導入と相まって、今回の数値に安住するわけにはいかない。教員たちは絶えず環境の変化に即応した、新たなパラダイム構築をする必要がある。

以上

4. 工学部

(1) アンケート実施状況について

今年度の授業評価アンケートは、後期（令和3年12月6日～12月11日）に実施された。実施教員数は、専任教員が49名中49名、講師（非常勤）が43名中38名で、昨年、一昨年と100%であったのに対し、今年度は、講師（非常勤）の実施率が88.37%であった。アンケート実施科目数は230科目（専任：146、非常勤：84）で、今年度より全科目が対象となったため、科目数は専任教員が51科目、講師（非常勤）が23科目増加している。一人あたりの実施科目数は、平均値で専任教員が3.0科目、講師（非常勤）が2.2科目であった。アンケートに回答した延べ人数は5,834名（1年：2,523、2年：2,098、3年：1,140、4年：72、無回答：1）であり、昨年の5,816名（1年：2,070、2年：1,941、3年：1,539、4年：174、無回答：92）と同等である。今年度はアンケート実施科目が大幅に増加したにも関わらずアンケートに回答した延べ人数が変わらないのは、4年生のアンケート回答数が今年度は大幅に減少していることから、アンケート実施時期の違い（昨年度は前期、今年度は後期に実施）が主な原因であると考えられる。

(2) 全体集計について

以下、昨年度までと同様に、各アンケート項目について講義科目を中心に考察する。

I. 自己評価

① 学生の出席状況（設問1-(1)）

工学部専門科目のうち、講義科目の出席状況は平均4.82となっており、昨年の4.68と比べて上昇した。過去5年間の変化を見てみると4.60～4.70程度であったが、今年は大きく数値を上げている。大学全体のポイントが4.73であり、全学部専門科目の中で最高の値である。工学部は100名以下の授業が多く、もともと教員側で出欠の状況把握がしやすいことと、カードリーダーによる出席管理がある程度定着したことに加え、コロナ禍において後期から対面授業が再開されたために、学生の意識が高かったことがひとつの要因であると考えられる。実験実習科目の出席状況は4.82で、昨年の4.85と比較して僅かに減少したが、講義科目同様に高いポイントを維持している。例年、講義科目よりも出席に対する意識は高いが、今年度は講義科目についても同程度に対面授業への意識が高かったことが伺える。

② ノート・メモ（設問1-(2)）

ノートやメモを取っているかどうかについては、4.08となっており、昨年の3.74から上昇している。全体平均は4.12（昨年度の全体平均3.98）であり、全体的に平均よりやや低い値となった。専任教員では4.02（昨年度3.87）、非常勤では4.02（昨年度3.51）であり、差は見られなかった。一昨年度よりBlack board やTeamsを利用して授業を行

ったため、今年度後期の対面授業にも一昨年度のオンデマンド講義資料を活用したケースも多いと考えられる。これにより「ノートを取る」行為は減少傾向にあると予測できるが、その習慣づけと練習は必要である。授業では、その意識付けや方法を教授する工夫も必要と考える。

③ 予習・復習（設問 1-(3)）

講義科目における予習・復習については全体平均が 1.93 で全学的に 1～2 の低い値となっているが、工学部は 1.99 で外国語学部の 2.13 に次いで比較的高い。昨年度の 1.80 と比較して 0.19 ポイント高くなっている。予習・復習について、講義要項に予習・復習の項目が記載され、さらに Black Board に事前に講義資料が掲示され、予習・復習内容を具体的に掲示したことにより、予習・復習がしやすくなったことが理由であると考えられる。しかしながら各科目 1 時間未満であり、さらなる努力が必要であろう。専任と非常勤を比較すると、専任教員は 1.98、講師（非常勤）は 1.94 であり差はほぼない。

II. 授業内容・方法

① 講義要項との一致（設問 2-(1)）

講義科目で 4.21（昨年 4.01）となり、昨年から評価はわずかに上がっているが、全学平均の 4.32 と比較すると低い値となっている。講義要項に沿って授業を行うことが基本であるが、工学部では知識を積み重ねていくタイプの講義が多いので、学生の理解度に合わせて進度を調整したり、新しいトピックを取り込んで理解を深める工夫をしたりすることが考えられ、現状特に問題はないと思われる。

② 難易度（設問 2-(2)、実験・実習科目：設問 2-(1)）

難易度は、例年同様中間の 3 が適切で、小さい値が簡単、大きい値が難しいという意味を示す。今年は講義科目で 3.64（昨年 3.58）、実験実習科目で 3.63（昨年 3.70）となっている。講義科目の全学平均 3.48 と比較するとやや高い値であるが、例年通りの傾向である。講義科目では、ここ数年間は 3.50～3.53 の範囲で推移していたことを考えると、昨年度からこの範囲を超えた値が連続した。前期に対面授業が実施できず、この間の授業レベルを落とすなどの工夫をされた授業もあったであろうことから、後期になって対面授業になりレベルを通常に戻したために難しく感じた、ということもあると考えられる。この結果は学部で共有する必要があるだろう。

③ 進捗（設問 2-(3)、実験・実習科目：設問 2-(2)）

進捗も、難易度と同様、3 が適切な進捗で小さい値が遅い、大きい値が速いという意味を示す。今回は講義科目で 3.27（昨年 3.33）、実験実習科目で 3.32（昨年 3.45）という結果となった。例年並みの値である。昨年度の後期はオンデマンド授業から対面授業への

切り替えが行われたが、授業の工夫により適切な進度を保ったことが見受けられる。

④ 話し方や声の聞き取りやすさ（設問 2-(4)）

講義科目で 3.67（昨年 3.93）、実験実習科目で 3.98（昨年 3.90）という結果で、全学平均の 4.01 と比較すると低い値である。学科別に大きな差はなく、どの学科も一様に全学平均より低い値である。コロナ感染防止対策によるシールド板などの影響により声が届きにくくなっていたことが考えられるので、この結果は学部で共有する必要があると考える。

⑤ 環境の配慮（設問 2-(5)）

講義科目で 3.74（昨年 3.90）、実験実習科目で 4.13（昨年 3.93）となり、講義科目ではやや減、実験実習科目ではやや増となった。この数年間大きな変動はないが、全学平均の 4.07 と比較すると低い値である。工学部の実験実習科目では特に、活発な議論やグループワークを促す努力をすることも数値の向上につながると考える。

⑥ 質問・発話（設問 2-(6)）

講義科目で 2.77（昨年 3.74）であり、昨年度よりやや低く、全学平均の 3.83 と比較してもやや低い値である。工学部は、もともと全学部に比べて低いようであるが、今年度は学生間の発話は控えるようにしていたのが原因と思われる。この内容については、様子を見る必要があろう。

⑦ オフィスアワー（設問 2-(7)）

授業時間以外の質問については、講義科目で 2.66（昨年 1.73）と 0.93 ポイント上昇しているが、全学平均の 2.72 と比べるとやや低い。工学部の教員は授業のない日でも在室していることが多く、授業中に質問できる機会を与えていることも多い。そのため、学生はオフィスアワーを意識する（または利用する）必要がないものと考えられる。

⑧ 意欲・熱意（設問 2-(8)、実験・実習科目：設問 2-(6)）

講義科目で 4.01、実験実習科目で 4.3 となった。全学平均の 4.25 より講義科目ではやや低いものの高い評価となった。学科別でも 3.97～4.10 であり大きな違いはない。

⑨ 時間の厳守（設問 2-(9)、実験・実習科目：設問 2-(7)）

講義科目で 4.16、実験実習科目で 4.36 となった。全学平均の 4.34 より講義科目ではやや低いものの高い評価となった。学科別でも 4.13～4.28 であり、講師（非常勤）においても 4.27 でありいずれも高い評価となった。

⑩ 教材等の効果（設問 2-(10)、実験・実習科目：設問 2-(8)）

講義科目で 4.08(昨年 3.88)、実験実習科目で 4.20(昨年 3.91) となり、講義科目、実験実習科目ともに増加した。オンデマンド授業の教材をうまく活用したことが伺える結果である。

⑪ 理解しやすさ（設問 2-(11)、実験・実習科目：設問 2-(10)）

講義科目で 3.69(昨年 3.51)、実験実習科目で 3.95(昨年 3.81) となり、全学平均(3.98)よりはやや低いものの、特に実験実習科目が高い評価を得ている。講義科目を学科別にみると、3.68~3.88 であり講義科目ではデザイン学科が最も高く(3.88)、機械システム工学科が最も低く(3.68) になった。講義科目において、前述の教材の有効性や声等、授業に対する具体的な改善を積極的に行い、理解しやすさを向上させてゆくことが重要であると考ええる。

⑫ 興味・関心（設問 2-(12)、実験・実習科目：設問 2-(12)）

講義科目で 3.79、実験実習科目で 4.13、全学平均は(4.03) であった。評価の高い実験実習と比較的難易度の高い講義科目とをうまく連携することによって、講義科目の理解度を高める工夫が求められると考える。

⑬ 見方・考え方が深まる（設問 2-(13)）

講義科目で 3.77(昨年 3.50)、実験実習科目で 4.05(昨年 3.84) となり、ともに増加した。興味・関心と同様、実験実習科目では全体平均(3.99) を上回っている。実験実習科目においては、学修内容と体験的に理解できることが、見方や考え方の深まりにつながっていると考えられる。一方で、講義科目では、学修内容の理解が追い付かずに考えの深まりに繋がっていないケースが多いと予測できる。そこで、講義科目の中でも、実験実習科目との連携やディスカッション等を通して体験的な学習を取り入れる工夫が必要であろうと考える。

⑭ 満足度（設問 2-(14)）

講義科目で 3.84(昨年 3.72)、実験・実習科目で 4.11(昨年度 3.87)、講義科目の全体平均は 4.14 であった。学科別に見ると、高い順にデザイン 3.95(昨年度 3.96)、情報 3.94(昨年度 3.56)、電子 3.92(昨年度 3.87)、機械 3.85(昨年度 3.73) となっており、情報工学科が大幅に上昇した。アンケート項目 1 つ 1 つの評価を上げるという具体的な改善を積み重ね、結果として満足度を向上させる必要であると考ええる。

Ⅲ. 学部等設問項目

令和2年度学習行動調査所見にて「リーダーシップ能力、課題に対する解決能力育成」という課題に対し、その教育改善方策の1つとして「上述能力の学習意識を高める」ことを掲げており、これを意識して以下の4項目を用意している。

① この授業の到達目標をよく理解していますか（設問3-(1)）

専任教員で3.74、講師（非常勤）で3.71であった。これは、「3: どちらとも言えない」～「4: そう思う」の間であり、学生が授業の到達目標を十分に理解しているとは言えないと考える。授業を通して身につく知識、伸ばせる能力を理解することは、自身の成長を実感する上で重要な要素である。授業の導入等で周知し、この設問のポイントを伸ばしてゆく必要があると考える。

② 宿題や課題に前向きな気持ちで取り組んでいますか（設問3-(2)）

専任教員で3.88、講師（非常勤）で3.77であった。これは、「3: どちらとも言えない」～「4: そう思う」の間であり、学修意識が十分とは言えないと考える。宿題や課題の工夫だけでの改善はなかなか難しい面もあるので、レポートや小テストの実施とこれに対するフィードバックによって宿題や課題に引き込んでいくような工夫も必要であろう。

③ この授業の内容について、先生や友人とよく話しますか（設問3-(3)）

専任教員で3.41、講師（非常勤）で3.26であった。これは、「3: どちらとも言えない」～「4: そう思う」の間であり、積極性が十分とは言えないと考える。学習内容について他者と話し合うことは、「リーダーシップ能力、課題に対する解決能力育成」に寄与すると思われるため、授業の中で、気軽に話せる友人や相談できる友人を発見する機会を与えることも必要と考える。参加型授業のような発言する機会を取り入れた授業への工夫も必要であろう。

④ この授業は、対面とオンデマンドのどちらの形式に適していると思いますか（設問3-(4)）

専任教員で2.74、講師（非常勤）で2.87であった。これは、「1: 対面に適している」「2: どちらかと言うと対面に適している」「3: どちらとも言えない」「4: どちらかと言うとオンデマンドに適している」「5: オンデマンドに適している」の選択肢から選ばれた回答であり、「2: どちらかと言うと対面に適している」～「3: どちらとも言えない」の間であった。必ずしも対面授業を望んでいるわけではないことがわかるので、学生からのフィードバックも得ながら、対面授業とオンデマンド授業を適切に配置する必要があると考える。

以上

5. 国際学部

(1) 実施状況

専任教員（34名）は全員、講師（非常勤）は、実施対象41名中37名（90.24%、5学部の中では最も高い）がアンケートを実施した。

実施科目数は専任教員177科目（平成元年度74科目）、非常勤講師181科目（平成元年度66科目）、計358科目で、平成元年度計140科目の約2.5倍となった。これは、今年度からゼミナールを含む原則すべての科目が対象となったことによるものと考えられる。

アンケート回答数（延べ人数）は、1年生1,840人、2年生2,055人、3年生914人、4年生283人、その他11人の計5,103人で、平成元年度計4,177人の約1.2倍の回答数が得られた。

(2) 全体集計

以下の表は、国際学部専門科目（68科目）について、各項目の過去5年間における平均値である。前年度よりも上昇した場合に△印を、低下した場合に▼印を、変化がなかった場合には□印を付した。但し、「2-(2) 難易度」と「2-(3) 進度」の2項目は数値が「3.0」の回答が適切であると判断されるものであるため、3.0に近づく方向を「上昇」とした。参考のために、本年度における大学全体の平均値も付記してある。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度	大学全体
1-(1) 学生の出席状況	4.52	▼4.43	△4.51	△4.57	△4.73	4.73
1-(2) ノート・メモ	3.84	□3.84	▼3.82	△3.91	△4.40	4.12
1-(3) 予習・復習	1.88	▼1.72	▼1.68	△1.83	▼1.79	1.93
2-(1) 狙いの明確さ	4.05	▼4.03	△4.13	△4.19	△4.39	4.32
2-(4) 声の大きさ	4.09	△4.15	▼4.08	△4.19	▼3.83	4.01
2-(5) 雰囲気	4.09	△4.20	▼4.18	△4.26	▼3.92	4.07
2-(6) 質問・発言	—	—	—	—	3.69	3.83
2-(7) オフィスアワー	1.75	1.65	1.60	1.66	△2.56	2.72
2-(8) 意欲・熱意	—	—	—	—	4.32	4.25
2-(9) 時間の厳守	—	—	—	—	4.37	4.34
2-(10) 教材等の効果	4.09	□4.09	△4.10	△4.25	△4.27	4.26
2-(11) 理解しやすさ	3.90	△3.92	△3.97	△4.06	△4.08	3.98
2-(12) 興味・関心	—	—	—	—	4.21	4.03
2-(13) 見方・考え方が深まる	4.06	▼3.99	□3.99	△4.13	△4.20	3.99
2-(13) 満足度	4.06	△4.07	△4.11	△4.19	△4.23	4.14

○回答「3.0」が適切である項目

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度	大学全体
2-(2) 難易度	3.36	△3.35	▼3.38	△3.33	▼3.41	3.46
2-(3) 進度	3.24	△3.22	▼3.23	△3.20	△3.15	3.26

① 自己評価 (1-(1)～(3))

1-(1)～(3)の各項目について、回答の多かった上位を挙げると以下のとおりである。

「1-(1) 授業への出席状況」	(1) ⑤90%以上 (79.35%)
	(2) ④80%以上 (15.57%)
「1-(2) ノート・メモ」	(1) ⑤強くそう思う (55.53%)
	(2) ④そう思う (33.04%)
「1-(3) 予習・復習」	(1) ①0.5h未満 (49.81%)
	(2) ②0.5h以上 (1h未満) (28.78%)

総じて見ると、学生たちは講義そのものへの取り組みは非常に良く、出席率が80%以上(④+⑤)と答えた学生が約95%で、平成元年度の91%よりさらに向上している。またノート・メモをとっていると答えた学生(④+⑤)の比率は89%で、平成元年度の68%より約20%も上昇している。加えて「ノート・メモ」については、大学全体の平均値(4.12)よりもかなり高い数値(4.40)を示している。

他方、予習・復習の時間について、1h未満と答えた学生(①+②)が79%であり、平成元年度の75%より増加した。また大学全体の平均値(1.93)よりも低い数値(1.79)を示している。なお、商学部専門科目及び政経学部専門科目でも約80%となっており、他学部専門科目とも共通の傾向といえる(ただし外国語学部は65%)。

②教育内容・方法 (2-(1)～(13))

大学全体の平均値より0.1ポイント以上高かった項目として、「理解しやすさ」「興味・関心」「見方・考え方が深まる」「進捗」がある一方、大学全体の平均値より0.1ポイント以上低かった項目として、「声の大きさ」「雰囲気」「質問・発言」「オフィスアワー」がある。

このうち「理解しやすさ」「見方・考え方が深まる」はこの数年間継続的に上昇傾向にある。「満足度」についても、国際学部の数字は安定的に上昇してきており、今年度の平均値4.23も全学部の中で最も高い数字となっているが、上記の要素が寄与しているものと考えられる。

他方、「声の大きさ」(4.19→3.83)、「雰囲気」(4.26→3.92)は平成元年度から大きく低下し、また大学全体の平均値よりも低い数字となった。アンケート対象は対面授業の受講生としているので遠隔授業の影響とは考えにくく、今後一層聞き取りやすさや私語の防止などに留意していく必要がある。

また「質問・発言」「オフィスアワー」はいずれも学生の主体的に学ぶ態度を反映している非常に重要な項目である。今後、積極的に改善していく必要がある。

③学部設問項目 (3-(1)～(5))

学部設問項目は、「授業の開始時間・終了時間」、「出欠席管理」、「授業中の私語」、「教室環境の適切さ」、「教員による学習環境づくり」の5項目で実施し、いずれ

も対面授業の履修者のみに回答を求めた。以下の表は、各項目の過去5年間における各項目の平均値をまとめたものである。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
3-(1) 授業の開始・終了時間					
専任教員	□4.54	▼4.53	△4.58	△4.60	▼4.37
講師(非常勤)	△4.58	□4.58	□4.58	▼4.48	▼4.27
3-(2) 出欠席管理					
専任教員	▼4.45	△4.50	▼4.47	△4.50	▼4.13
講師(非常勤)	△4.60	▼4.52	△4.60	△4.69	▼4.04
3-(3) 授業中の私語					
専任教員	▼4.06	△4.08	△4.14	▼4.10	△4.20
講師(非常勤)	△3.92	▼3.70	△3.85	△3.98	△4.13
3-(4) 教室環境の適切さ					
専任教員	4.28	△4.47	▼4.39	△4.50	▼4.26
講師(非常勤)	4.33	△4.38	△4.47	△4.51	▼4.02
3-(5) 教員による学習環境づくり					
専任教員	—	—	4.33	△4.41	▼4.26
講師(非常勤)	—	—	4.34	△4.39	▼4.02

結果として、5項目中4項目において平均値の低下が見られた。いずれの設問も対面授業での教室管理、学習環境づくりの内容であり、コロナの影響が避けられなかった（例えばコロナ対策によりグループワークや教室全体でコミュニケーションする場面の減少など）ことも想定できる。

今後もコロナ禍の状況によるところが大きいですが、いずれにしても急速にコロナ前の状況に完全に戻ることは難しいことに鑑みると、さまざまな制約がある中でも、いかに工夫して「学生がいきいきと学べる環境づくり」を実現していくかが大きな課題となっている。

(3) まとめ

前述のとおり、「満足度」については国際学部の数字は安定的に上昇しており、今年度も全学部の中で最も高い数字となった。これは国際学部各教員の努力と熱意の賜物といえるが、これに安住することなく、今回のアンケート結果を踏まえ、今後も特に以下の点に留意しつつ不断の授業改善に取り組む必要があると考えられる。

- ① コロナによる影響を最小限に抑えた、より学びやすい学習環境・雰囲気づくり。
- ② 学生が積極的に参加し、主体的に学ぶ態度を涵養する授業運営やゼミ指導。
- ③ 国際学部の長所（興味・関心が高まり、見方・考え方が深まる学び等）をさらに伸ばし、より学生の「満足度」が高まる教育内容。

以上

6. 教養教育科目

専攻分野についての専門性を有するだけではなく、思考力、判断力、俯瞰力、表現力の基盤の上に、幅広い教養を身に付け、高い公共性・倫理性を保持しつつ、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、論理的思考力を持って社会を改善していく資質を有する人材の育成が本学には求められている。高度な教養と専門性を備えた先導的な人材の養成のためには、教養教育科目の充実が重要である。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本年度も昨年度と同様に遠隔授業を実施した。今年はほぼ全ての科目が遠隔授業となったが、2年目ということもあって、教員学生ともこの環境に慣れてきているようであり、遠隔授業の利点も出てきているようである。

(1) アンケート実施科目数

教養教育科目に対する実施科目数は、130科目で、学部別では、商学部 25科目、政経学部 48科目、外国語学部 12科目、工学部 14科目、国際学部 24科目であった。

(2) 集計結果と評価

<満足度>

教養教育科目に対する満足度について、全体の平均値では4.13ポイントである。これは全体平均4.14より0.01ポイント低い。年度平均をみると徐々に上がってきていて、よい傾向である。

<理解のしやすさ>

理解のしやすさは、昨年は、学生教員双方とも慣れない遠隔授業であったのでわずかに低下したが、今年は、遠隔授業2年目ということもあって、教員も慣れてきたのか、理解のしやすさが飛躍的に上昇した。教養教育科目に対する理解のしやすさは、全体の平均値では4.00ポイントである。これは全体平均3.98より0.02ポイント高い。

<質問・発言>

教養教育科目では3.54ととりわけポイントの低い項目である。全学平均の3.83より0.29ポイントも低い。しかしながら昨年からは大きくポイントが上がっている。遠隔授業の効果であろうか。

<予習・復習>

1.93ポイントと全学的にポイントが低いことが問題であるが、教養教育科目ではさらに0.24ポイント低く1.69である。しかしながら、年々少しながら上昇してきている。

(3) 課題

授業の評価としては、本来、学生が評価する満足度や理解しやすさより、教員が学生の理解度を評価する学生の成績の平均値を比べる方が、よい指標になるはずである。このデータを取得して、評価や課題を設定するべきである。

ゼミや実験・演習を除いて、質問・発言が低いことが本学授業改善の大きな課題である。教養教育科目にあっても同様であり、この点は遠隔授業になって少しは改善された模様であるが、遠隔授業には改善の余地がおおいにあると思う。

とりわけ、教養教育科目で授業を改善する課題として大きなものは、予習・復習の実施である。全学的にもポイントが著しく低いので、本学のカルチャアとして取り組むべき課題であると思う。

教養教育科目では、引き続き、広く深く学術の基礎を学び人間性を涵養する教育となるよう、授業内容や授業方法の工夫・改善を推進する。

以上

6. 教養教育科目（外国語科目）

この報告書は令和3年12月6日から11日（予備日12月13日から18日）にかけて実施されたアンケートを基に作成したものである。

（1）実施状況

学科目別のアンケート実施科目数に関して見てみると、外国語科目は外国語クラスの授業展開が少人数制を採用しているため他の学科目と比べて一番多く、実施科目数は677となっている。この数字は2番目に多いゼミナール・外書講読のおよそ1.79倍となっている。また外国語科目とは具体的に英語、第2外国語、選択外国語、地域言語、日本語（留学生用）の総称である。

（2）全体集計、学科目別の平均値及び標準偏差

受講学生の授業への積極的なかわり方を表す設問3項目1-（1）「学生の出席状況」、1-（2）「ノート・メモ」、1-（3）「予習・復習」を他の学科目と比較してみた場合、設問1-（1）に関しては他の学科目と大きな数字の違いは見られない。一方、設問1-（2）は平均値が他の学科目と比べて一番高くなっており、また設問1-（3）に関しては標準偏差のばらつきはあるもののかなり高い平均値が見てとれる。この設問3項目からは外国語科目の受講に際して学生たちがノートをきちんと取り、予習や復習に時間を割かないと教授内容の理解に支障をきたす可能性があるという意識が読み取れる。

設問項目2-（1）から2-（14）は受講学生の対象授業に関する直接の評価となる。対象授業へのいわば総合評価とも考えられる設問項目2-（14）（授業への）「満足度」を見てみるとゼミナール・外書購読の突出した数字を除く他の学科目と比べてみても、平均値、標準偏差ともにさして大きな違いはみられない。

2-（1）「狙いの明確さ」に関して他の学科目の数字と大きな違いはない。2-（4）「声の大きさ」を見てみると平均値3.71とかなり低い数字となっている。原因として遠隔授業受講時はブラックボードの使用などによりそもそも教員が声を出す機会がない場合もあり、また対面授業においてもコロナのウイルス感染予防の観点から教員が大きな声での発音練習を意識的に控える傾向にあったと推測される。設問項目2-（5）「環境の配慮」、2-（7）「オフィスアワー」に関して他の学科目群と大きな相違は見られない。設問項目2-（6）「質問・発言」の平均値は4.11と比較的高い数字がでているが、標準偏差に関しては担当教員によって学生たちの評価が割れていように思える。設問項目2-（8）「熱意」、2-（9）「時間の厳守」、2-（10）「教材等の効果」、2-（11）「理解しやすさ」の4項目に関しては他の学科目との大きな数字の違いはみられない。一方で設問項目2-（12）「興味関心」そして2-（13）「見方・考え方が深まる」の2項目に関して平均値がそれぞれ3.98、3.85とあまり高くない数字にとどまっており、他の学科目と比較しても高いとは言い難い。「興味関心」と「見方・考え方が深まる」の両項目は受講学生の学習への動機付けという意味において関連性が強く、数字が高くないという事実はなんらかの工夫が必要であることを示唆している。

(3) 外国語科目の平成28年度から令和3年度までの各設問項目の経年比較

設問項目2- (7)「オフィスアワー」の評価が過年度と比べて飛躍的に伸びているが、理由は現時点でよくわからない。設問項目2- (10)「教材等の効果」も少しではあるが評価の数字が伸びている。遠隔授業などで各担当教員が受講学生たちの理解度を上げるために教材作成の折に工夫をしたことが推測される。また同時に設問項目2- (1)「狙いの明確さ」も平成28年度からの5年間で一番よい評価、数字となっている。これもコロナ禍で外国語の文法などを教授する折に、時間の有効活用のために遠隔授業、対面授業とも担当教員間で教授内容の明確な分担がなされ、連絡を密にできたのではないかと考えられる。また設問項目2- (4)「声の大きさ」の数字は令和3年度がここ5年間で一番低調であった。

(4) 課題

集計されたアンケートを概観してみると、外国語科目に関してコロナ禍に特徴的な傾向と従来から継続している課題点との2つの面がみえたように感じる。

コロナ禍ならではの課題としては設問項目2- (4)「声の大きさ」があげられる。Blackboardを用いた授業に関しては難しい点があるが、それでも音声はBlackboard上に張り付けてるなどして発音練習を実施するなどの工夫が求められる。また対面授業の場合には各教室に設置されているマイクか、携帯マイクを使用して発音などを行うと声の聴き取りにくさは解消できる。効果的なマイクの使いかたを工夫する必要がある。

一方従来からの課題としては設問項目2- (12)「興味関心」、2- (13)「見方・考え方が深まる」の2項目が依然としてあるように思う。学生たちの学びのモチベーションを上げるためには外国語の文法や表現などをただ教授するだけでなく、その他の要素も必要になってくる気がする。具体的に例を挙げるのであれば、教授される各言語の背景にある文化を説明する機会を設ける、それぞれの言語が話されている社会の現状などを学べるテキストを選定するなどの方法もある。またテストの実施とは別に、各言語の運用能力が向上していることを受講学生たちに実感してもらうことも大変重要である。公的な語学能力検定を受験するように促し、実際に合格できるように指導していくことも課題の解決に大きく寄与するはずである。

以上

6 教養教育科目（スポーツ・トレーニング科目）

（1）実施状況

令和3年度「授業改善のための学生アンケートは、基本的には令和3年12月6日（月）から12月11日（土）、及び予備日として12月13日（月）から12月18日（土）までの授業時間中に実施した。QRコードを学生に何らかの方法で提示し、学生がスマホ等で読み込んでWeb上にて回答を回収した。

スポーツ・トレーニング科目のアンケート内容は、講義科目や実験実習科目と異なり、身体を動かす実技科目であることから独自の内容となっている。

実施科目数は、実質、商学部・政経学部が4科目（トレーニング基礎演習・生涯スポーツ基礎演習・生涯スポーツ応用演習A・生涯スポーツ応用演習B）、外国語学部・工学部が同様に4科目（科目名も商・政経学部と同じ）、国際学部が2科目（生涯スポーツ基礎演習Ⅰ・生涯スポーツ基礎演習Ⅱ）である。

教員7名（専任3名・講師4名）が、上記した方法か、アンケート当日欠席した学生には以下の連絡を送りアンケートを実施した。

「blackboard の連絡事項」にQRコードを掲載し、学生にスマホ等で読み込ませ、回答させた。

（2）アンケート項目

アンケート項目は21問。体育実技科目用のアンケートであるため、一般的な講義科目用のアンケートより設問数が若干多くなった。また、回答「3.0」が適切である項目は設けなかった。21問中の9問は、スポーツ・トレーニング科目独自の設問となった。

（3）受講姿勢に関する学生の自己評価—その集計結果

1-（1）「学生の出席状況」の平均値は4.67である。令和元年度（令和2年度のデータはない）は、4.75であることから、やや低い値となったが、十分に高い数値である。「出席率80%以上」と回答した学生は94.7%であった。極めて高いパーセンテージである。体育実技科目は、平成25年度までは国際学部を除く全学部が必修科目としていたが、平成26年度からは工学部のみが必修科目としている。その工学部も令和2年度からは必修科目から体育実技科目を外した。それ故、本調査の数値は、全く必修科目ではない選択科目としての体育実技科目の初めての出席状況調査数値である。平成22年度から令和元年度までの10年間の「出席率80%以上と回答した学生の平均値は90.7%であった。従って、令和3年度に体育実技科目を選択履修した学生の授業出席に対する真面目な姿勢が窺える。

1-（2）「健康・運動への関心」の平均値は4.45であった。良好な数値であると思える。令和元年度と同設問に対する数値4.26より漸増している。「⑤強く思う」と「④そう

思う」の合計（以下⑤+④とする）が、本調査では95.7%であった。これは令和元年度の81.1%を大きく凌駕している。自身の健康・体力に関してより強い関心を寄せている学生が、近年は履修登録していることが窺える。

1-（3）「積極的参加」の平均値は4.50であった。選択科目として体育実技科目を履修する学生であるから、この項目の数値が高いのは十分に頷ける現象である。令和元年度の4.51とほぼ変わらない数値となった。ただし、⑤+④の合計値は本調査が96.1%であり、令和元年度は88.9%であった。よりレベルの高い積極参加の姿勢が窺える。コロナ禍による運動不足や仲間たちと思うように会えないもどかしさなどによるフラストレーションの存在も考えられる。

受講生の体育実技科目受講に対する意識は、近年、より積極的になってきていると思われる。それは受講生の態度（取り組みの状況）にもよく表れている。早く教場に来る・授業準備を積極的に手伝える・実技実施中に大声を出す・よく笑う・欠席や遅刻が少ない等々は、担当教員が感じる近年の受講生の変化である。「健康・運動への関心」についても「強くそう思う」「そう思う」と答えた「肯定群」の割合が95.7%と、令和元年度（81.1%）を15ポイント近く引き離している。受講生が体育実技科目を選択履修する目的意識は極めて明確であり、これが数値に反映されていると考えられる。令和3年度前期までは、緊急事態宣言の発出に伴い、対面授業がほとんど行えなかった。しかし、この数値を見る限り、学生の取り組み状況にそれらの影響はないように見受けられる。むしろ、実際に仲間と共に身体を動かす喜びに学生は満ち溢れているよう窺える。「積極参加」も7.2ポイント一昨年より上昇している。オンライン授業では血気盛んと形容できるであろう大学生の欲求をうまく満たすことは難しいと推測できる。

（4）教育内容・方法についてーその集計結果と今後の課題

2-（1）「狙いの明確さ」の平均値は4.43であった。令和元年度の数値は4.45。高い水準を継続して維持していると考察できる。学科目別回答の分析では、⑤+④が95.7%であり、一昨年度の88.6%を7ポイントあまり上回った。「狙いの明確さ」についての受講生の評価は向上していると考えられる。

2-（2）「運動量」の平均値は4.64であった。十分に高い数値である。授業参加における運動量は十分にあると受講生は感じていると考えられる。一昨年度の調査とは設問文章の文言を変えているため、比較検討はできない。

2-（3）「体力、健康の向上・改善」の平均値は4.45であった。この項目も令和元年度の調査とは設問の文言を変えている。従って、数値の比較検討はできない。4.45は、体育

実技科目の授業として十分に納得できる数値であると分析できる。

2－(4)「説明のわかりやすさ」の平均値は4.44である。これも他の質問項目と同様に肯首が可能な数値ではあるが、科目の特性上、受講生が全く未知の内容を教授する訳ではないので、限りなく5.0に近づける努力をしなければならないと考えられる。一昨年度の数値は4.20であった。わずかな向上が見て取れる。良好な傾向は感じられる。

2－(5)「声の大きさ」の平均値は4.52である。令和元年度の4.63よりやや低い数値となったが、問題は全く感じない。良い傾向であると思える。⑤+④は96.1%であった。

2－(6)「コミュニケーション」の平均値は4.62である。令和元年度の4.51からわずかに増加した。良好な数値であると言えよう。⑤+④も95.2%であった。学生とのフレンドリーな関係(運動場面においては、指導者とのフレンドリーな関係が選手の躍動感につながると言われている)が窺える。

2－(7)「雰囲気」の平均値は4.60である。令和元年度の4.50よりわずかに数値は高くなった。⑤+④は97.1%である。これも極めて良好な数値である。今後とも継続して行きたい。

2－(8)「授業の準備」の平均値は4.60である。新設した質問項目であるため、令和元年度のデータはない。⑤+④は93.7%である。施設面・用具面などの授業の準備についての学生の評価は十分に高いと考えられる。及第点であろう。

2－(9)「安全への配慮」の平均値は4.62である。2－(8)と同様に新設の設問であるため、令和元年度以前のデータはなし。⑤+④は93.2%と高い数値である。しかし、体育実技科目においては「安全への配慮が十分でしたか」の問いに対しては、⑤+④は100%にならなければならないと考えられる。今後の課題として、いの一歩に捉えられなければならないであろう。

2－(10)「意欲・熱意」の平均値は4.65である。この項目も新設した設問であるため、令和元年度以前のデータはない。⑤+④は97.6%と極めて高い数値である。教員の情熱を受講生は十分に感じていると考えられる数値である。

2－(11)「時間の厳守」の平均値は4.62である。この項目も新設した設問であるため、令和元年度以前のデータはない。⑤+④は95.2%とこれも極めて高い評価となったが、「安全への配慮」と同様に100%にならなければいけない項目であると考えられる。今後

の課題として捉えなければならないであろう。

2－(12)「興味関心」の平均値は4.60である。この項目も新設した設問であるため令和元年度以前のデータはない。⑤+④は96.8%と非常に良好な数値となった。多くの学生が授業内容に興味を抱いていたと回答している。

2－(13)「知識・技術の習得」の平均値は4.46である。令和元年度の4.32よりわずかに評価が上がった。⑤+④は95.2%である。これも極めて良好な数値である。今後とも継続して行きたい。

2－(14)「健康・体力維持」の平均値は4.60である。これも令和元年度の4.44よりわずかに評価が上がった。⑤+④は96.6%である。もちろん極めて良好な数値ではあるが、この項目こそ、100%達成を目指すべき項目であろう。体育実技科目の達成目標の柱となるものである。これも今後の課題として体育実技担当教員は共有していかなければならないと考える。

2－(15)「満足度」の平均値は4.62である。これも令和元年度の4.48よりわずかに評価が上がった。⑤+④は97.1%と極めて高い数値である。一般的な講義科目より高い評価を受けたのは科目の特性上当然であると考えられるが、受講生の興味関心がもともと高いが故に、授業内容に失望した際には大きく数値が落ちるであろうことは想像に難くない。今後も高い満足度の数値を得て行くために担当教員は努力していかなければならないと考える。

(5) スポーツ・トレーニング科目独自設問—その集計結果と今後の課題

3－(1)「種目の選択と内容の希望」の平均値は4.62である。令和元年度の4.43よりわずかに高い評価となった。良好な数値であると考え。⑤+④は97.6%であった。

3－(2)「時間帯」の平均値は4.46である。令和元年度の4.38よりこれも若干数値は向上している。体育実技科目であるため激しい身体活動に適していると考えられる2時限目～4時限目の時間帯に授業時間を配置しているため、多くの学生が肯定していると考察できる。⑤+④は92.3%である。今後も授業の配置時間は現状の配置を継続して行く意向である。

3－(3)「履修の希望」の平均値は4.24である。令和元年度の3.64、また、令和元年度以前の10年間の平均値3.69をかなり上回る結果となった。これは、必修科目としての体育実技が全く無くなり、体育実技は全てが選択科目となった令和3年度の学生アンケート

ト調査であることが強く影響していると考えられる。選択科目であることから、当然、運動嫌い・体育嫌いの学生は履修してこない。現在我々が提供しているプログラムに対して、リピートしたいと考えている学生が多いという単純な結果であろう。⑤+④は81.2%であった。しかし、取得することができる体育実技科目の単位数は限られている。体育実技科目に限っては特別な科目として単位取得の制限が撤廃される、あるいは、一度取得した単位でももう一度申し込みまた受講できるなどの特別な措置が構築されなければリピートはできない。多くの学生がリピート受講を望んでいると考えられる。

以上、現状の分析と今後の課題を簡便に示してきた。2-(15)の「満足度」の平均値からは、強く、受講生の体育実技科目受講に対する好意的な評価を窺うことができる。しかし、詳細に検討すると「どちらとも言えない」が2.42%、「そう思わない」が0.48%存在している。新たに105分授業が導入される令和4年度は、更衣と教場への移動を伴う体育実技科目にとっては授業が行い易い環境となる。学生の不満のひとつである授業の支度の煩雑さは大いに解消されるであろう。

105分授業導入は、体育実技科目にとっては極めて追い風である。学生の資質と学生の能力向上を目指し、更なる努力で体育実技授業の改善を図って行きたい。

7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

授業評価の対象となる教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座の科目数の実質合計は52科目となっている。

「総合的な満足度」は、3講座の科目全体で見ると、今年度の平均値は4.26であった。これは、全学（2099科目）の平均4.14を上回っている。また、一昨年（令和元年）度の平均値4.25と同程度であった。これまでと同様に、受講学生からおおむね好意的に評価されているといえる。以下、個別に現状分析と課題について述べてみたい。

1. 自己評価について

- (1) 「学生の出席状況」の平均値は4.76（標準偏差0.51）であり、一昨年度の4.68（同0.61）よりやや高い。
- (2) 「ノートやメモ」の平均値は4.22（同0.92）であり、一昨年度の4.14（同1.04）よりやや高い。「どちらともいえない」が一昨年度の18.6%から9.5%に低下した。
- (3) 「予習あるいは復習」の平均値は1.81（同0.98）であり、一昨年度の1.68（同0.94）よりやや高い。「30分未満」が48.6%であり、一昨年度より8ポイント低下した。

学生の意識については、全体として取組への積極性が一層高まっているといえる。90%以上の出席率が80%台となり、「ノートやメモ」についても「強くそう思う」「そう思う」と答えた「肯定群」の割合が85%と、一昨年度より10ポイント以上高くなった。履修学生が当該科目を選択履修する目的意識は明確であり、これが数値に反映されていると考えられる。今年度は緊急事態宣言発出に伴って対面授業ができない期間もあったが、数値からは、取組状況に大きな影響を及ぼしたことは窺えない。オンライン授業への切り替えが混乱なく行われたことが推察できる。運動部学生では、試合等でやむを得ない欠席もみられるが、該当する学生には、事前に授業の欠席届の提出などを指導している。

課題としては、「予習あるいは復習」の励行が挙げられる。これは、平均値が全学（1.93）よりも低い数少ない質問項目となっている。ただ、「予習あるいは復習」の「30分未満」が減少し、逆に「30分以上1時間未満」が5.6%増加するといった好転の兆しが見られる。学生は、各学部での学修に加えて当該科目を選択履修しており、当該科目の予習・復習に時間をなかなか割けていない状況が考えられる。「1時間」前後の中間層の増大を念頭に、授業担当者が課題や宿題を、そのねらいを周知しながら課していくなどの指導を引き続き行っていく必要がある。

2. 教育内容・方法について

- (1) 「授業のねらいの明確さ」の平均値は4.37（同0.69）であり、一昨年度4.29（同0.91）よりやや高い。「強くそう思う」「そう思う」と答えた「肯定群」（以下、同）は一昨年度より12ポイント余り高くなった。

- (2) 「難易度」の平均値は 3.44 (同 0.60) であり、一昨年度 3.37 (同 0.64) よりやや高い。「やや難しい」と答えた割合が 5.5 ポイント増えて 36.4%となった。「ちょうど良い」は 58.2%であった。
- (3) 「進度」の平均値は 3.21 (同 0.51) であり、一昨年度 3.14 (同 0.52) より「やや速い」が増えた。「ちょうど良い」は 79.5%であった。
- (4) 「声の大きさ」の平均値は 4.12 (同 0.91) であり、一昨年度 4.32 (同 0.95) より低下した。
- (5) 「環境の配慮」の平均値は 4.13 (同 0.83) であり、一昨年度 4.52 (同 0.73) より低下した。「肯定群」は一昨年度より 9.5 ポイント余り低下して 79.8%となった。
- (6) 「質問・発言」の平均値は 4.13 (同 0.92) であり、「肯定群」は 77.8%となった。
- (7) 「オフィスアワー」の平均値は 2.64 (同 1.30) であり、一昨年度 1.47 (同 0.98) より増加した。「肯定群」は 23.5 ポイント増加して、29.3%となった。
- (8) 「意欲・熱意」の平均値は 4.37 (同 0.74) であり、「肯定群」は 91.1%となった。
- (9) 「時間厳守」の平均値は 4.37 (同 0.77) であり、「肯定群」は 90.2%となった。
- (10) 「教材等の効果」の平均値は 4.38 (同 0.76) であり、一昨年度 4.30 (同 0.93) よりやや高い。「肯定群」は一昨年度より 11.6 ポイント増えて 92.2%となった。
- (11) 「理解しやすさ」の平均値は 4.11 (同 0.79) であり、一昨年度 4.00 (同 0.97) より高い。「肯定群」は一昨年度より 14.6 ポイント増えて約 86%となった。
- (12) 「興味関心」の平均値は 4.19 (同 0.83) であり、「肯定群」は 86.7%となった。
- (13) 「見方・考え方」の平均値は 4.22 (同 0.81) であり、一昨年度 4.16 (同 0.92) よりやや高い。「肯定群」は一昨年度より 10.6 ポイント増えて 87.5%となった。

質問項目のうち、一昨年度より数値が改善されたかあるいは同水準のものが増えてきている。(1)「狙いの明確さ」は、当該科目そのものが狙いの明確な性格を有していることに加えて、履修学生も目的意識を明確に受講していることから、多くの学生に一層理解されていると考えられる。(8)「意欲・熱意」、(9)「時間厳守」は新設の質問項目であるが、いずれも指導教員の姿勢が好意的に評価されている。また(10)「教材等の効果」、(11)「理解しやすさ」や、(12)「興味関心」(新設)、(13)「見方・考え方」についても、評価は良好であり、指導教員の授業改善への取組が奏功しているものといえる。その背景には、昨年度のオンライン授業における工夫改善が今年度の対面授業の実践にも活かされていると推察する。

また、(7)「オフィスアワー」の利用については、一昨年度「肯定群」が6%弱にとどまっていたことからすると、かなり改善された点は特筆される。「オフィスアワー」は、新型コロナウイルス感染症拡大のなかで精神的にも負担感を感じている学生とのコミュニケーションの機会を増やし、安心感と学修意欲を高める絶好の機会となる。利用するしないのばらつきも大きいので、今後さらに学生に利用を促したい。

他方で、課題としては、(4)「声の大きさ」、また、授業に集中できる(私語の防止など)ような(5)「環境の配慮」が、一昨年度に比べて低下したことである。その理由ははっきりしないが、新型コロナウイルス対策として教室で間隔を空けて着席する指導と教室環境の維持が充分噛み合っていないことなども考えられる。日々の授業において、受講学

生の様子を把握しながら、授業に集中できるような聞き取りやすい声量や教室環境の整備に心がけていかななくてはならない。

学生の受講状況の把握という点では、授業の(2)「難易度」、(3)「進度」にも引き続き留意する必要がある。今年度は、「やや難しい」「やや速い」が若干増加した。もっとも、「ちょうど良い」が依然として大勢であり、標準偏差から見てもばらつきは大きくないので、(6)「質問・発言」(新設)を促す参加型授業を取り入れ、個々の学生への声かけを工夫しながら、授業改善に引き続き努めていくことが重要である。

以上、現状分析と課題を挙げてきた。冒頭で述べた通り、「2-(14)総合的な満足度」の平均値からは受講学生の好意的な評価を窺うことができる。ただ詳細を見ると、「どちらともいえない」が7.8%、「強くそう思う」が7.5%ともに減少して、「そう思う」が15.7%増加し、全体に「まずまず」という学生が約半数を占めるというのが実態である。現下の状況がどうなるか予測は難しいが、新たに105分授業が開始される次年度に向けて、課題を踏まえ、学生の資質・能力の向上につながるさらなる授業改善を図っていききたい。

以上

参考資料

「授業改善のための学生アンケート」実施要領

アンケート様式

令和3年度「授業改善のための学生アンケート」実施要領（学部）

1. 目的

学修者本位の教育の質の向上を図るため、各教員が授業に対する学生の評価・意見を直接聞き、授業内容及び教育方法の改善に反映させ、さらに、学部・学科全体として、授業科目・教育課程の編成・実施に関する改善策の検討に役立てること。

2. 対象科目

本学で開講する通年科目及び後期科目（オンデマンド型授業を含む）を担当する全ての教員を対象とする。ただし、北短開講科目、委託業者担当科目、講座科目（オムニバス）、集中講義（工学部卒業研究を含む）は対象外とする。

3. 実施期間

令和3年12月6日（月） ～ 12月11日（土）
（予備日：12月13日（月） ～ 12月18日（土））

4. 実施方法

「学生アンケートシステム」を使用し、Web上で実施する。

（前期7月と後期12月に実施予定、令和3年度は後期12月のみ実施予定）

- （1）事前に「学生アンケートシステム」にログインし、科目毎のQRコードとURLが記載されたPDFデータを出力（必要であれば印刷）する。科目毎専用のアンケートフォームとなっているため、アンケート実施時に科目が混在しないように注意する。
- （2）アンケート実施期間前の授業にて、アンケート実施の旨と、スマートフォン（以下スマホ）を持参するよう学生に周知する。
- （3）アンケート実施期間内に、次の方法にて実施する。

【対面授業科目】

教室内のスクリーン（モニター）にQRコードを表示し、学生がスマホ等で読み込んで回答する。その際、必ずWi-Fiに接続できる旨を学生に伝える。

スマホ非所有者は【オンデマンド型授業科目】の方法で対応する。またQRコードを読み取れない場合は、URLから回答するよう依頼する。

【オンデマンド型授業科目】

各授業科目の担当教員において、Blackboardの「連絡事項」にQRコード（PDF）を掲載頂き、学生がスマホ等で読み込み回答する。

※体育実技科目については同様の方法で実施する。

《特記事項》

- ・同一教員が担当している連続授業（2コマ以上）については、期間内に1度のアンケート実施をお願いします。
- ・複数の教員が担当している連続授業については、各担当教員でのアンケート実施をお願いします。

5. 科目別集計表等の作成、実施結果の取り纏め

- (1) 実施期間後（12月19日（日）以降）に科目別集計表が自動で集計される。
- (2) 担当教員は、科目別集計表の「科目別集計に対する担当教員の所見」について学生アンケートシステム上で入力する。（各項目 800字まで入力可）
- (3) FD委員会は“実施結果報告書 第Ⅰ部 全体集計”、“第Ⅱ部 科目別集計”を作成する。
※ただし、第Ⅰ部全体集計のうち「Ⅳ. コース・分野・学科別集計」の作成は取り止める。
- (4) 各学部FD委員会は、実施結果を分析し、報告書を纏めるにあたって、学部において授業改善のための意見交換を行い、「今後の課題」の中でいくつかの「具体的な次年度の授業改善取組方針及び実施計画」を掲げる。
実施結果報告書第Ⅰ部の記載項目は、「Ⅱ実施状況」、「Ⅲ全体集計」を基に、各学部等の「Ⅳ評価及び課題」をA4サイズ2～3枚程度に纏める。

6. 活用方法

- (1) 各教員は、「科目別集計結果」及び「実施結果報告書」を、自己の授業内容及び教育方法の改善に役立てる。
- (2) 各学部・学科は、「科目別集計結果」及び「実施結果報告書」を、授業科目・教育課程の編成・実施に関する組織的な改善策の検討に役立てる。
- (3) 大学は、教育の質の向上を図るための教学マネジメントの一環として、各学部における取組に対して適切な支援と助言を行う。

以 上

令和3年度 「授業改善のための学生アンケート」 設問項目
【講義等科目用】

【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

1		自己評価					(7)	授業時間以外に先生へ質問に行くこと(ワ1&ワ7-等)がありますか。					
(1)	あなたのこの授業の出席率ほどの程度でしたか。	⑤ 90% 以上	④ 80% 以上	③ 60% 以上	② 40% 以上	① 40% 未満	(8)	先生の授業に対する意欲や熱意を感じますか。	⑤	④	③	②	①
(2)	あなたは授業での口頭説明や板書内容などについて、ノートあるいはメモをとっていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①	(9)	この授業の開始・終了時間は守られていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(3)	あなたはこの科目について、毎回のくわい予習あるいは復習をしていますか。(h=時間)	⑤ 3h 以上	④ 2h 以上	③ 1h 以上	② 0.5h 以上	① 0.5h 未満	(10)	教材等(教科書・配付資料・板書・パワーポイント等)はこの授業内容を理解するのに有効ですか。	⑤	④	③	②	①
2		教育内容・方法					(11)	この授業の内容はよく理解できましたか。					
(1)	この授業は講義要項に沿って授業が行われていますか。	⑤	④	③	②	①	(12)	この授業の内容に興味を持ってましたか。	⑤	④	③	②	①
(2)	この授業の難易度はどうですか。⑤難しい ④やや難しい ③ちょうど良い ②やや易しい ①易すぎる	⑤	④	③	②	①	(13)	この授業を通じてもの見方や考え方が深まりましたか。	⑤	④	③	②	①
(3)	この授業の進度はどうですか。⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①	(14)	総合的にこの授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①
(4)	話し方や声は聞き取りやすいですか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①	3	学部設問項目					
(5)	先生は授業に集中できるよう配慮(私語の防止等)をしていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①	各学部の「学部設問項目」が入ります。						
(6)	この授業は学生の授業参加(質問・発言)を促しましたか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①							

自由意見欄 (自由記述)	この授業で良かった点、改善してほしい点、この教室の環境(教室の大きさ・エアコン・防音・設備など)について意見や要望があれば、具体的に書いてください。
-----------------	--

《学部設問項目》

学部	設問	回答
商学部	(1)	あなたはこの授業へのあなた自身の取り組みを振り返って満足していますか。
	(1)	この授業の満足度として、あなたが考える一番大きなものは何ですか。 ① 自分が勉強したい内容であった ② 授業がわかりやすい ③ 単位を取得することができそうだ ④ 宿題やテストで内容が身についた ⑤ 講義の時間帯が適切であった
	(2)	この授業を習得するために、あなたが取り組むべきことは何ですか。 ① もっと出席をする ② 授業をよく聴き理解に努める ③ まじめに宿題に取り組む ④ テキストを読み返すなどの復習をする ⑤ 試験対策を入念にする
	(3)	あなたが望む先生への質問方法は何か。 ① 授業中の挙手 ② 授業後の質問タイム ③ 電子メール ④ 研究室などへの訪問 ⑤ 授業中の質問メモの配布と回収
政経学部	(4)	留学生だけに質問します。留学生からみて、この授業に必要なことは何ですか。 ① ゆっくり話してほしい ② 文字情報をふやしてほしい ③ 教材の漢字にふりがなをつけてほしい ④ 日本語の書き方を教えてほしい ⑤ 試験前に質問の時間がほしい
	(1)	この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
	(2)	このクラスの学生数は適切ですか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
	(1)	この授業の到達目標をよく理解していますか。
外国語学部	(2)	宿題や課題に前向きな気持ちで取り組んでいますか。
	(3)	この授業の内容について、先生や友人とよく話しますか。
	(4)	この授業は、対面とオンデマンドのどちらの形式に適していると思いますか。 ① 対面に適している ② どちらかという対面に適している ③ どちらとも言えない ④ どちらかというオンデマンドに適している ⑤ オンデマンドに適している
	(1)	授業の開始時間、終了時間は守られていますか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
工学部	(2)	出欠はきちんととられていますか。
	(3)	授業中、学生同士の私語はないですか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
	(4)	この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
	(5)	学生がいいきいと学べる環境づくりに教員が努めていますか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
	(5)	学生がいいきいと学べる環境づくりに教員が努めていますか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
国際学部	(1)	授業の開始時間、終了時間は守られていますか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
	(2)	出欠はきちんととられていますか。
	(3)	授業中、学生同士の私語はないですか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
	(4)	この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)
	(5)	学生がいいきいと学べる環境づくりに教員が努めていますか。(※対面授業の履修者のみ回答してください)

【工学部・実験・実習科目用】

【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

1	自己評価	5	4	3	2	1	(5)	先生は授業に集中できるよう配慮(安全及び私語の防止等)していますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(1)	あなたのこの授業の出席率は何の程度でしたか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	(6)	先生は熱意をもって授業を行っていますか。	⑤	④	③	②	①
(2)	あなたはこの授業のために事前準備を行っていますか。	⑤	④	③	②	①	(7)	この授業の開始・終了時間は守られていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(3)	あなたはこの授業のレポート作成にまじめに取り組んでいますか。	⑤	④	③	②	①	(8)	教材等(実験機材・教科書・配付資料・板書・パワーポイント・模型等)はこの授業内容を理解するのに有効ですか。	⑤	④	③	②	①
(4)	あなたの受講態度(遅刻状況、授業への集中度、私語の有無などの総合評価)はどうか。⑤非常に良かった ④良かった ③普通 ②悪かった ①非常に悪かった	⑤	④	③	②	①	(9)	教材(実験機材・テキスト・配付資料・模型など)の使用は適切ですか。	⑤	④	③	②	①
							(10)	この授業の内容はよく理解できましたか。	⑤	④	③	②	①
2	教育内容・方法	5	4	3	2	1	(11)	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	⑤	④	③	②	①
(1)	この授業の難易度はどうか。⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やや易しい ①易しすぎる	⑤	④	③	②	①	(12)	この授業の内容に興味を持っていましたか。	⑤	④	③	②	①
(2)	この授業の進捗はどうか。⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①	(13)	この授業を通じてもの見方や考え方が深まりましたか。	⑤	④	③	②	①
(3)	説明は分かりやすいですか	⑤	④	③	②	①	(14)	総合的にこの授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①
(4)	話し方や声は聞き取りやすいですか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①							

自由意見欄 (自由記述)	(1)	この授業で良かった点は、なんですか。
	(2)	この授業で改善してほしい点があれば書いてください。
	(3)	この授業の環境(教室の大きさ・エアコン・照明・防音・備品など)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

【スポーツ・トレーニング用】

【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

1	自己評価	5	4	3	2	1							
(1)	あなたのこの授業の出席率ほどの程度でしたか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	(8)	この授業は施設・用具など授業の準備は十分でしたか。⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ②やや不十分であった ①不十分であった	⑤	④	③	②	①
(2)	あなたは自分の健康と運動・栄養・休息に関心を持っていますか。	⑤	④	③	②	①	(9)	この授業は安全への配慮が十分でしたか。⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ②やや不十分であった ①不十分であった	⑤	④	③	②	①
(3)	あなたはこの授業でやる気を持って積極的に取り組んでいますか。	⑤	④	③	②	①							
2	教育内容・方法	5	4	3	2	1	(10)	先生は熱意をもって授業を行っていますか。	⑤	④	③	②	①
(1)	この授業は講義要項に沿って授業が行われていますか。	⑤	④	③	②	①	(11)	この授業の開始・終了時間は守られていますか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(2)	この授業の運動量はどうか。 ⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ②やや不足していた ①不十分であった	⑤	④	③	②	①	(12)	この授業の内容に興味を持ちましたか。	⑤	④	③	②	①
							(13)	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	⑤	④	③	②	①
(3)	この授業で体力・健康状態が向上・改善されましたか。⑤十分であった ④おおむね十分であった ③どちらとも言えない ④やや不十分であった ①不十分であった	⑤	④	③	②	①	(14)	この授業は学生生活及び健康・体力維持に役立ちましたか。	⑤	④	③	②	①
							(15)	総合的にこの授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①
(4)	説明は分かりやすいですか。	⑤	④	③	②	①	3	スポーツ・トレーニング設 問事項	5	4	3	2	1
(5)	話し方や声は聞き取りやすいですか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①	(1)	履修したスポーツ種目の選択と内容はあなたの希望にそっていましたか。	⑤	④	③	②	①
(6)	教員と学生との友好的なコミュニケーションがありますか。	⑤	④	③	②	①	(2)	受講した時間帯は適切でしたか。 (※対面授業の履修者のみ回答してください)	⑤	④	③	②	①
(7)	この授業は身体活動にふさわしい雰囲気に保たれていますか。	⑤	④	③	②	①	(3)	次年度以降、あなたの好きな「生涯スポーツ応用演習」(自由科目)を履修したいですか。	⑤	④	③	②	①

自由意見欄 (自由記述)	(1)	この授業で良かった点は、なんですか。
	(2)	この授業で改善してほしい点があれば書いてください。
	(3)	この授業の環境(アリーナ・グラウンド・トレーニングルーム・更衣室・シャワールームおよび用具<ボール・ラケット等>)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

令和3年度
授業改善のための学生アンケート報告書
—全体集計—
第I部
令和4年4月発行

編集・発行 拓殖大学 FD委員会
〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-4
電話 03-3947-7299 (学務部 学長事務室)